



DIGITAL PIANO

P - 2 2 5

リファレンスマニュアル

説明書について

●取扱説明書（製品に付属）

この楽器の基本的な機能の使い方を説明しています。また、ご使用前に必ずお読みいただく「安全上のご注意」も掲載しています。

●リファレンスマニュアル(本書)

応用的な機能やMIDIに関する機能など、この楽器の全機能の使い方を説明しています。

表記について

⚠ 警告	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
ご注意	「製品の故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。
NOTE	知っておくとよい補足情報です。

●クイックオペレーションガイド



<https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/p-225/qg/>

鍵盤に割り当てられた機能の一覧表です。

印刷して譜面立てに置き、操作早見表としてご活用いただけます。

●スマートピアニスト ユーザーガイド

この楽器と連携して使用できるスマートデバイスアプリ「スマートピアニスト」(48ページ)の接続方法や使い方を説明しています。

●スマートデバイス接続マニュアル

楽器をスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。

●コンピューターとつなぐ

楽器とコンピューターを接続する方法などを説明しています。

すべての説明書を、ヤマハのウェブサイトでご覧いただけます。製品名などを入力して、検索してください。

ヤマハ | 取扱説明書 — サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/manuals/>

* 「MIDI入門」と入力すると、MIDIの基礎知識を説明した資料を確認できます。

■取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。



- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

もくじ

説明書について.....	2
各部の名前と機能	4
ご使用前の準備	7
電源の準備.....	7
電源を入れる/切る.....	7
オートパワーオフ機能.....	8
インテリジェント・アコースティック・ コントロール(IAC).....	9
基本操作	10
鍵盤を使った操作.....	10
バックアップと初期化.....	11
楽器のバージョンを確認する.....	12
いろいろな音色で演奏する	13
音色を選ぶ.....	13
右手と左手で違う音色を弾く(スプリット).....	15
異なるグループの2つの音色を重ねて弾く (デュアル).....	17
2人で一緒に弾く(デュオ).....	18
音色デモ曲を聞いて音色の特徴を確認する.....	20
メトロノームを使う	21
曲(ソング)を再生する	23
右手または左手パートを消音して再生する.....	25
演奏に伴奏を付ける(リズム)	26
演奏に便利な設定をする	29
サウンドブースト.....	29
トランスポーズ(移調).....	30
チューニング.....	31
ウォールEQ.....	32
タッチ感度.....	33
バーチャル・レゾナンス・モデリング ライト (VRM Lite).....	34
リバーブ.....	35

演奏を録音する	36
録音する.....	36
パートごとに録音する.....	37
ユーザーソングを削除する.....	38
パートを選んで削除する.....	39
ユーザーソングの設定を書き換える.....	40
他の機器と接続する	41
ヘッドホンを使う.....	41
フットスイッチや別売のペダルユニットを使う... ..	42
外部スピーカーを使う.....	44
コンピューターやスマートデバイスと接続する... ..	46
スマートデバイスアプリを使う.....	48
Bluetoothブルートゥース対応機器の オーディオ再生音を楽器のスピーカーで聞く... ..	49
MIDIに関する設定	51
MIDI送信/受信チャンネルの設定.....	51
ローカルコントロールオン/オフの設定.....	52
プログラムチェンジ送受信オン/オフの設定.....	53
コントロールチェンジ送受信オン/オフの設定.....	54
音色一覧.....	55
エフェクトタイプ一覧.....	56
MIDIインプリメンテーションチャート.....	57
資料	
困ったときは	58
索引	59

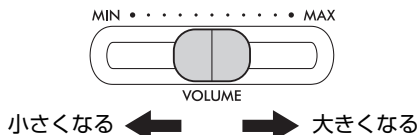
各部の名前と機能

[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ、電源ランプ(7ページ)

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。
電源が入ると、スイッチ右のランプが点灯します。

ボリューム [VOLUME] スライダー (7ページ)

楽器全体の音量を調節します。



デモ/ソング [DEMO/SONG] ボタン (20、23ページ)

音色デモ曲や内蔵曲を再生します。

[−][+]、[L][R] ボタン (21、24~26、31、37ページ)

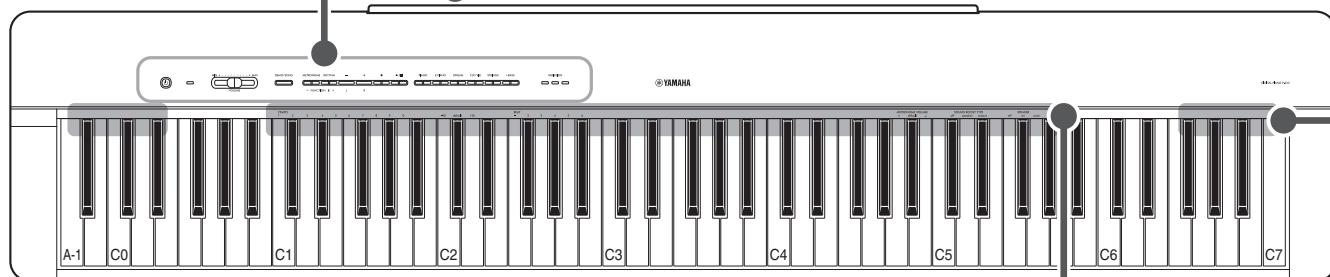
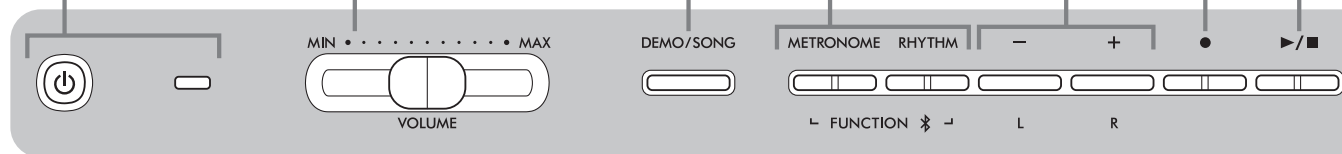
[−][+] ボタンとして使う

テンポを変えたり(21、24、26ページ)、内蔵曲などの再生中に曲を切り替えたり(24ページ)、音の高さを調整したり(31ページ)します。

[L][R] ボタンとして使う

内蔵曲再生時(25ページ)や演奏録音時(37ページ)のパートを選択します。

本体前面

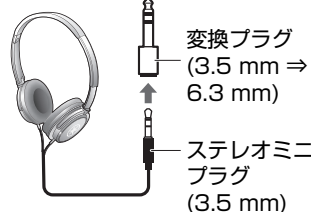
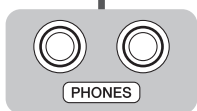


フォーンズ [PHONES] 端子 (41ページ)

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを2本同時に使えます。1本だけ使う場合は、どちらの端子に接続してもかまいません。

△ 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



鍵盤操作イラスト

(10、22、23、28~35ページ)

ボタンと鍵盤を組み合わせる操作

この楽器は、一部の鍵盤に機能が割り当てられています。一部のボタンを押したまま、機能が割り当てられた鍵盤を押すと、機能をオン/オフしたり、値を設定したりできます。一部の機能は、このイラストを見ながら操作できます。

[METRONOME] ボタン (21ページ)

メトロノームを鳴らしたり、止めたりします。

[RHYTHM] ボタン (26ページ)

リズム (打楽器音とベース音) を鳴らしたり、止めたりします。

リズムとは

この楽器には、打楽器音とベース音で構成された「リズム」が内蔵されています。[RHYTHM] ボタンを押すと打楽器音が鳴り、両手で演奏するとベース音が鳴ります (26ページ)。

[FUNCTION] ボタンとして使う

[METRONOME] ボタンと [RHYTHM] ボタンを同時に押したまま該当の鍵盤を押すと、さまざまな設定ができます。

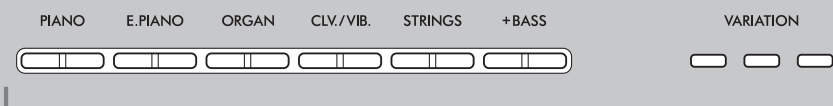
3秒以上押すと、スマートフォンなどのBluetooth対応機器とのペアリングを開始します (49ページ)。

[●](録音) ボタン (36ページ)

演奏を録音します。

[▶/■](再生/停止) ボタン
(23、36ページ)

録音した演奏(ユーザーソング)を再生/停止したり、内蔵曲を停止したりします。

**本体背面**

6ページをご覧ください。

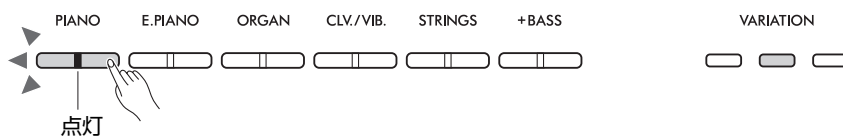
本体スピーカー (45ページ)

このスピーカーから、音を出す(オン)、出さない(オフ)、ヘッドホン接続時のみ音を出さない(auto)を設定できます。

初期設定：オート

音色ボタン (13、15、17、20ページ)**音色を選ぶ**

お好みの音色(グループ)のボタンを押して選びます。



1つのボタンで4種類の音色を選べます。同じボタンを押すたびに、[VARIATION] ランプが点灯したり消えたりして、4種類の音色を順番に選べます。

どのような音色が入っているかは、13ページの「音色リスト (詳細版)」をご覧ください。

△ 注意

- 他の機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入/切する前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷のおそれがあります。

エーユーエックスアウト アール エル/エル+アール
AUX OUT [R][L/L+R] 端子
 (44ページ)

大きな音を出したい時に、アンプ内蔵スピーカーなどを接続するステレオ/モノラル出力用端子です。

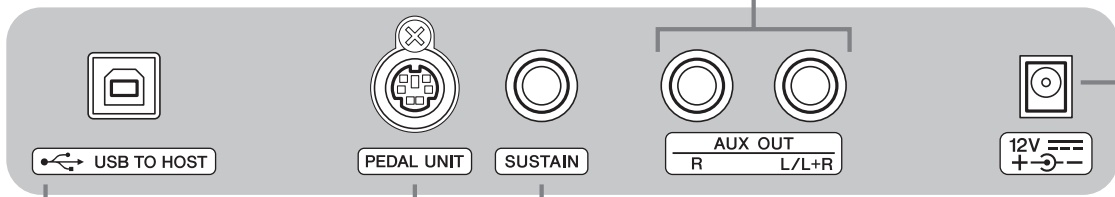
接続例 アンプ内蔵スピーカー

AUX OUT 標準フーンプラグ (6.3 mm) AUX IN 標準フーンプラグ (6.3 mm)

オーディオケーブル

DC IN 端子(7ページ)
 付属の電源アダプターを接続します。

本体背面



サステイン
[SUSTAIN] 端子(42ページ)

付属のフットスイッチを接続すると、フットスイッチを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。別売のフットペダルFC3A(ハーフペダル対応)やフットスイッチFC4A/FC5も接続できます。

SUSTAIN

ペダルユニット
[PEDAL UNIT] 端子(43ページ)

別売のペダルユニットLP-1(ハーフペダル対応)を接続します。

ペダルユニットのケーブルは、必ずイラストと同じ向きで挿してください。

LP-1(別売)

L-200(別売)

ペダルユニットLP-1は、必ず専用スタンドL-200に取り付けてお使いください。

ハーフペダル機能とは：ペダルの踏み加減で音の伸び具合を調節できる機能です。

ユーエスピートゥ ホスト
[USB TO HOST] 端子(46ページ)

市販のUSBケーブルを使って、コンピューターやスマートデバイスと接続します。接続すると、MIDIやオーディオの通信ができます。

USB TO HOST 楽器

Type B Type A USBケーブル

(必要に応じて) + USB変換アダプター

コンピューター または スマートデバイス

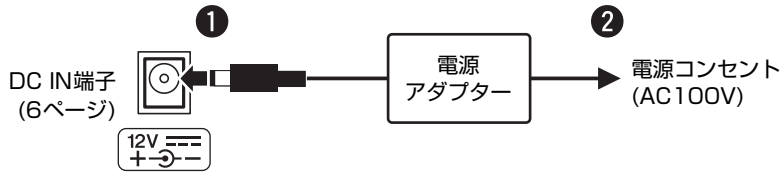
ご注意

- USBケーブルは、ABタイプのものでご使用ください。また、3メートル未満のものでご使用ください。USB3.0は使用できません。

ご使用前の準備

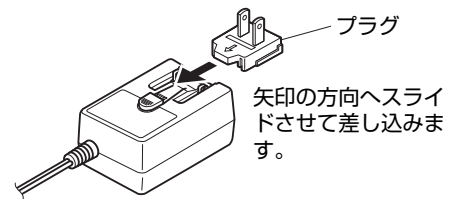
電源の準備

図の順序で電源アダプターを接続します。



⚠ 警告

- 電源アダプターは、必ず付属のものをご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。
- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないよう注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。また異物が入らないようご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。
- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

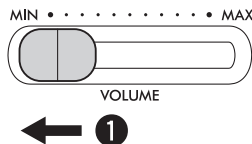


NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源スイッチを切ってから、逆の手順で行ってください。

電源を入れる/切る

- ① 音量を最小にします。
- ② [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



電源が入ると、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ右の電源ランプが点灯します。

音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。

電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します(1秒)。

⚠ 警告

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

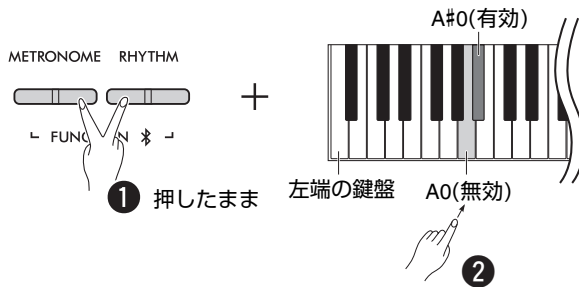
オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、楽器が30分操作されないと自動的に電源が切れる機能です。

オートパワーオフ機能の有効/無効(オン/オフ)を切り替える

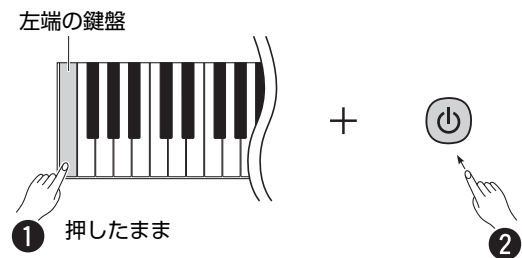
初期設定：有効(オン)

^メ^ト^ロ^ノ^ムと^リ^ズ^ムボタンを押したまま、A0(無効)またはA#0(有効)の鍵盤を押して切り替えます。



オートパワーオフ機能の簡単解除

左端の鍵盤を押したまま電源を入ると、オートパワーオフ機能が解除された状態で電源がオンになります。この場合、[●](録音)ランプが3回点滅します。



インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC)

インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC)とは、楽器の全体音量の大小に応じて、自動的にスピーカーやヘッドホンの音質を補正する機能です。音量が小さい場合でも、低音や高音がしっかりと聞こえるようになります。特にヘッドホン使用時には、全体音量を過度に上げることなく、耳への負担を抑えることができます。

この機能のオン、オフを切り替えるには、^メ^ト^ロ^ノ^ムと^リ^ズ^ムボタンを押したまま、C2(オフ)またはC#2(オン)の鍵盤を押します。

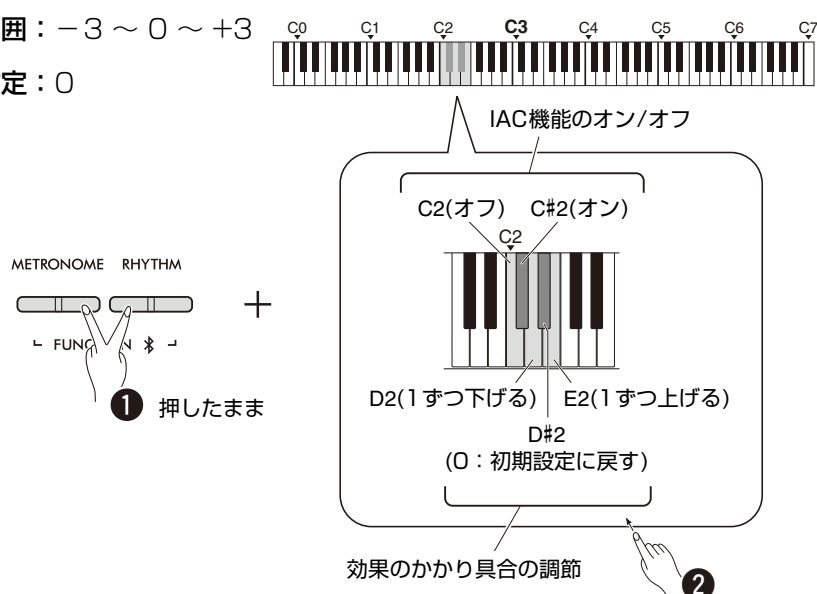
初期設定：オン(有効)

IACの効果のかけ具合を設定する

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したまま、D2(1ずつ下げる)、D#2(初期設定に戻す)、E2(1ずつ上げる)の鍵盤を押して設定します。

設定範囲：-3 ~ 0 ~ +3

初期設定：0

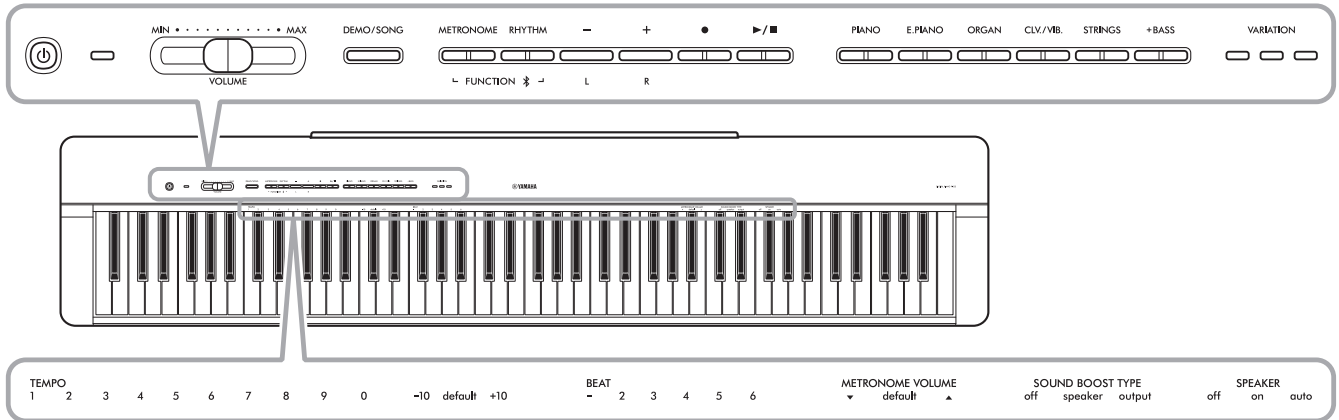


基本操作

鍵盤を使った操作

この楽器は、本体前面にあるボタンを押すだけでなく、ボタンと鍵盤を組み合わせて操作して使います。

この楽器の一部の鍵盤には、機能が割り当てられています。該当のボタンを押したまま、その鍵盤を押すと、機能をオン/オフしたり、値を設定したりできます。

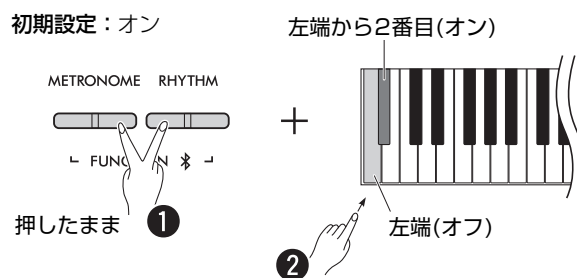


一部の機能は、ここに設定値が印刷されているので、内容を見ながら鍵盤操作できます。

鍵盤を使った操作のみをまとめた「クイックオペレーションガイド」をヤマハウェブサイト(本書2ページ記載)で公開しています。印刷いただき、譜面立てにおいて、操作早見表としてご活用いただけます。

鍵盤操作音のオン/オフを切り替えるには

ボタンと鍵盤を組み合わせて操作するとき、初期設定では、操作音(クリック音、またはオン/オフや数値の読み上げ音声)が鳴ります。[METRONOME] ボタンと[RHYTHM] ボタンを押したまま、左端または左端から2番目の鍵盤を押して切り替えます。



バックアップと初期化

楽器の以下の設定は、自動的にバックアップされるので、電源を切っても消えません。

•ユーザーソング

•バックアップされる設定

- メトロノーム/リズム音量..... 22、28ページ
- メトロノーム拍子..... 22ページ
- タッチ感度..... 33ページ
- チューニング..... 31ページ
- オートパワーオフ機能..... 8ページ
- 鍵盤操作音オン/オフ..... 10ページ
- スプリットポイント..... 15ページ
- IACオン/オフ..... 9ページ
- IAC効果のかかり具合..... 9ページ
- イントロ/エンディングオン/オフ..... 28ページ
- 外部スピーカー (AUX OUT) 音量設定..... 44ページ
- ステレオフィニックオプティマイザーオン/オフ..... 41ページ
- 本体スピーカーオン/オフ..... 45ページ
- ウォールEQオン/オフ..... 32ページ
- フルートコース Bluetoothオン/オフ..... 50ページ

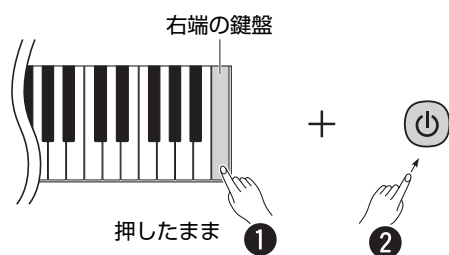
NOTE

- テンポの設定はバックアップされません。

バックアップされる設定を初期化するには

上記の設定を工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」といいます。

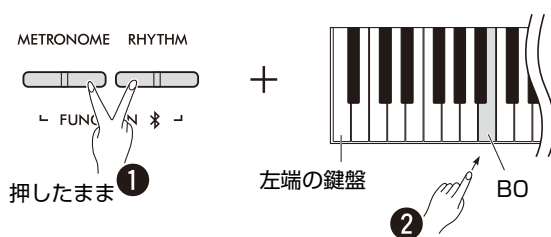
右端の鍵盤を押したまま、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入ると、初期化されます。



楽器のバージョンを確認する

お使いの楽器のバージョンを確認できます。

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したままBO鍵盤を押すと、現在の楽器のバージョンが英語で読み上げられます。



ヤマハ製品では、機能や操作性向上のために、不定期に製品本体のファームウェアをアップデートすることがあります。本体ファームウェアのアップデートや最新情報については、製品ウェブサイトをご覧ください。

いろいろな音色で演奏する

音色を選ぶ

お好みの音色(グループ)のボタンを押して選びます。






同じボタンを押すたびに、[VARIATION]ランプが点灯したり消えたりして、グループ内の音色を順番に選べます。

音色リスト (詳細版)

音色ボタン (グループ)	バリエーション	音色名	音色紹介
PIANO 		グランドピアノ	コンサートグランドピアノからサンプリングされたこの音色は、弱いタッチから強いタッチまでのなめらかな音色変化が表現できます。また、ダンパーペダル使用時のペダル位置による音色変化、鍵盤を離れたタイミングによるの微妙な発音など、さまざまな要素においてアコースティックピアノに極限まで近づけたぜいたくな音作りです。また、生ピアノ独特の、弦どうしの共鳴(ストリングレゾナンス)も再現しました。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
		ライブグランド	明るい響きを持った広がりあるクリアなピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
		バラードグランド	温かみあるしっとりとしたピアノの音です。落ち着いた曲に合います。
		ブライトグランド	ブライトなピアノの音です。クリアに音を目立たせたい曲に最適です。
E.PIANO 		ステージエレピ	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。
		DXエレピ	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。タッチの強弱に応じて音色の変化も楽しめます。ポピュラー音楽に最適です。
		ビンテージエレピ	異なるタイプの電気ピアノの音です。ロック、ポピュラー音楽によく使われています。
		シンセピアノ	ポピュラー音楽でよく耳にするシンセサイザーによる電子ピアノの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。
ORGAN 		ジャズオルガン	歯車回転式電気オルガンの音です。ジャズ、ロックなどの音楽でよく用いられます。別売のペダルユニット(LP-1)を接続すると、左ペダルの操作で、ロータリースピーカーの回転の速い/遅いを切り替えられます。
		ロックオルガン	明るくエッジのきいた電気オルガンの音です。ロックに最適です。
		オルガン プリンシパル	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
		オルガン トウツティ	バッハの「トッカータとフーガ」で有名なパイプオルガンのフルカブラーの音です。

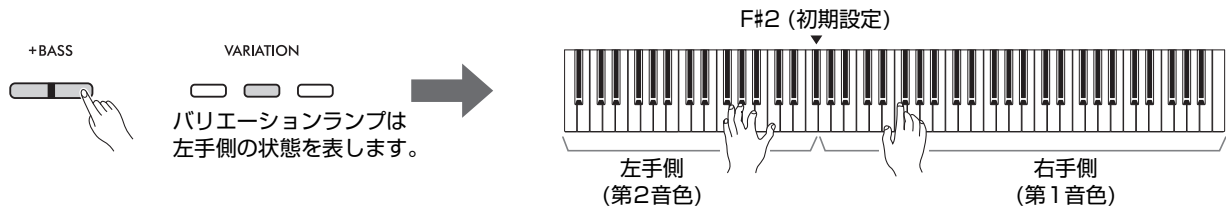
(次ページへ続く)

音色ボタン (グループ)	バリエーション	音色名	音色紹介
CLV/VIB. 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	クラビコード	電磁ピックアップの付いた鍵盤式打弦楽器です。ファンキーなサウンドはブラックコンテンポラリー音楽などでおなじみです。その構造から、鍵盤を離したときには独特の発音があります。
	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ビブラフォン	比較的柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。強く弾くほど金属的な音になります。別売のペダルユニット(LP-1)を接続すると、左ペダルの操作で、ビブラートのオン/オフを切り替えられます。
	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ハーブシコード8'	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによって音量は変わらず、鍵盤を離したときには独特の発音があります。
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	ハーブシコード8'+4'	オクターブ上の音がミックスされたハーブシコードの音です。より華やかさが感じられます。
STRINGS 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ストリングス	ステレオサンプリングでリアルな響きがする大編成弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。
	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	スロー ストリングス	立ち上がりの緩やかな弦楽アンサンブルの音です。ピアノや電子ピアノとのデュアルに向いています。
	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	クワイア	空間に広がる心和む合唱の音です。スローな曲で和音の広がりが見られます。
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	シンセ パッド	暖かくメロウで広がりのあるシンセ音です。アンサンブルのバックの通奏音に最適です。
+BASS 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	アコースティックベース	アップライトベースを指で弾く奏法の音です。ジャズやラテン音楽などによく用いられます。
	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	エレクトリックベース	エレクトリックベースの音です。ジャズ、ロック、ポピュラーなどの音楽によく用いられます。
	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ベース&シンバル	シンバルの音を重ねてあります。ジャズのウォーキングベースに用いると効果的です。
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	フレットレス ベース	フレットレスベースの音です。ジャズ、フュージョンなどの音楽に向いています。

音色の特徴をつかむため、この楽器には音色デモ曲(20ページ)が内蔵されています。

右手と左手で違う音色を弾く(スプリット)

[+BASS]ボタンを押すとF#2鍵盤(初期設定)より左手側の鍵盤だけがベース音色になり、左手と右手、別々の音色で演奏できます(スプリット)。ベース音色は、ボタンを押すたびに切り替わります。右手側の音色を選んでからお好みのベース音色を選んでください。



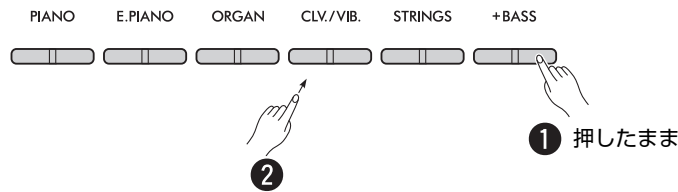
スプリットをオフにして左右同じ音色に戻すには、いずれかの音色ボタンを押します。

NOTE

- 別売のペダルユニット(43ページ)接続時、左手側がベース音色の場合は、左手側に右ペダルが効きません。

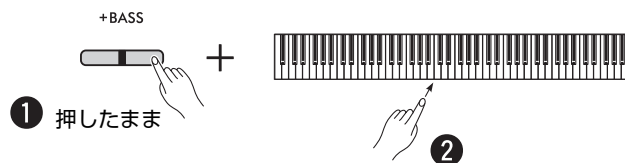
左手側にベース以外の音色を選ぶ

[+BASS]ボタンを押したまま、使いたい音色の音色ボタンを押して選びます。



鍵盤の分かれ目(スプリットポイント)を変更する

左手側と右手側の鍵盤の分かれ目をスプリットポイントといいます。スプリットポイントは、初期設定ではF#2ですが、変更することができます。[+BASS]ボタンを押したまま、スプリットポイントを設定したい鍵盤を押します。最低音からスプリットポイントの鍵盤までが左手側になります。

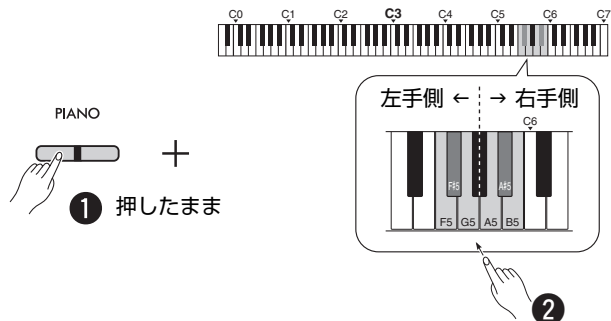


各音色のオクターブを上げる/下げる

2つの音色のオクターブを変更します。左手側と右手側の音色それぞれ別に設定できます。

[PIANO]ボタンを押したまま、F5～B5の鍵盤を押します。

設定範囲：-2 ～ +2 初期設定：音色の組み合わせによる

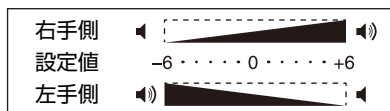
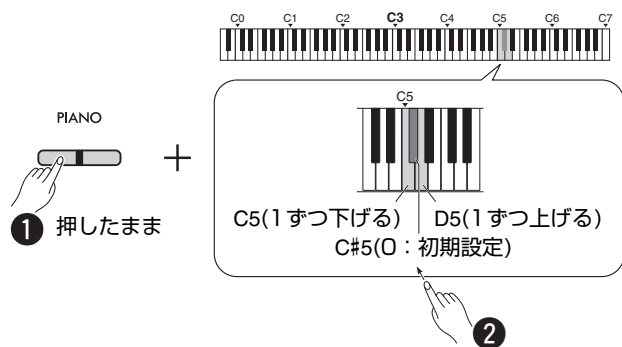


左手側 (第2 音色)	F5	1 ずつ下げる	右手側 (第1 音色)	A5	1 ずつ下げる
	F#5	初期設定 (音色の組み合 わせによる)		A#5	初期設定 (音色の組み合 わせによる)
	G5	1 ずつ上げる		B5	1 ずつ上げる

2音色の音量バランスをとる

2つの音色の音量バランスを変更します。[PIANO]ボタンを押したまま、C5～D5の鍵盤を押します。

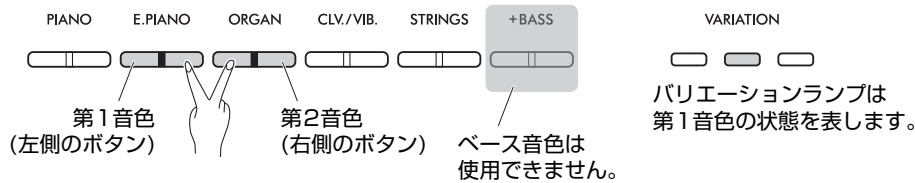
設定範囲：-6 ～ 0 ～ +6 初期設定：0



設定値が+6に近づくほど、右手側の音量が大きくなり、-6に近づくほど左手側が大きくなります。

異なるグループの2つの音色を重ねて弾く(デュアル)

重ねて演奏したい異なるグループの2つの音色をあらかじめ選んでおきます。その2つの音色ボタンを同時に押して、デュアル機能をオンにします。



NOTE

- 同じグループの音色を2つ重ねることはできません。
- デュオ(18ページ)機能使用時は、デュアル機能を使えません。

デュアル機能をオフするには、いずれかの音色ボタンを1つ押します。

各音色のオクターブを上げる/下げる

2つの音色のオクターブを変更します。第1音色と第2音色、それぞれ別に設定できます。

[PIANO]ボタンを押したまま、F5~B5の鍵盤を押します。

設定範囲：-2 ~ +2 初期設定：音色の組み合わせによる

第2音色	F5	1ずつ下げる	第1音色	A5	1ずつ下げる
	F#5	初期設定 (音色の組み合わせによる)		A#5	初期設定 (音色の組み合わせによる)
	G5	1ずつ上げる		B5	1ずつ上げる

2音色の音量バランスをとる

2つの音色の音量バランスを変更します。[PIANO]ボタンを押したまま、C5~D5の鍵盤を押します。

設定範囲：-6 ~ 0 ~ +6 初期設定：0

第1音色 ◀ [Volume Balance Diagram] ▶

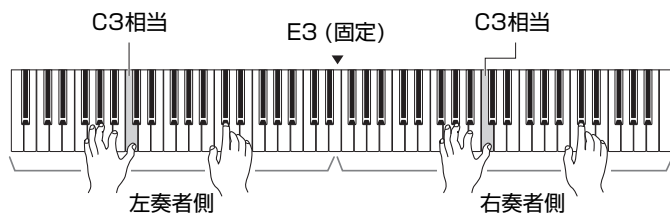
設定値 -6 0 +6

第2音色 ▶ [Volume Balance Diagram] ◀

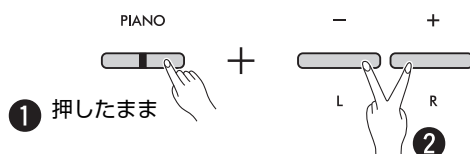
設定値が+6に近づくほど、第1音色の音量が大きくなり、-6に近づくほど第2音色が大きくなります。

2人で一緒に弾く(デュオ)

鍵盤を左右に分けて、同時に2人が同じ音色、音域で演奏できます。



デュオ機能をオン/オフするには、[PIANO] ボタンを押したまま、[-]、[+] ボタンを同時に押します。



NOTE

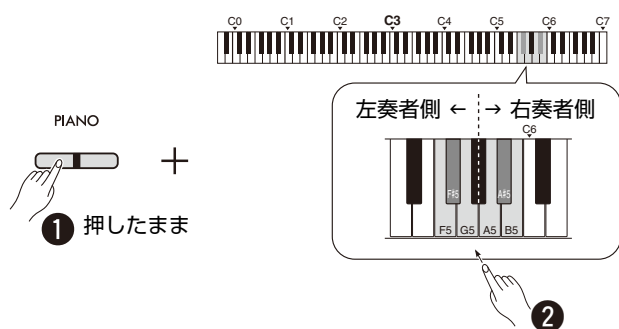
- ベース音色では演奏できません。
- デュオのスプリットポイント(鍵盤の分かれ目)は、E3から変更できません。
- デュオタイプ(19ページ)を「セパレート」に設定すると、リバーブの深さ(35ページ)は0になり、ステレオフォニックオプティマイザー(41ページ)はオフになります。
- デュオをオンにすると、VRM Lite(34ページ)はオフになります。

左右の鍵域のオクターブを上げる/下げる

左右の鍵域のオクターブを変更します。左奏者側と右奏者側、それぞれ別に設定できます。

[PIANO] ボタンを押したまま、F5～B5の鍵盤を押します。

設定範囲：-2 ～ +2 初期設定：音色の組み合わせによる

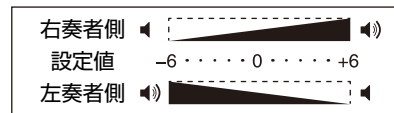
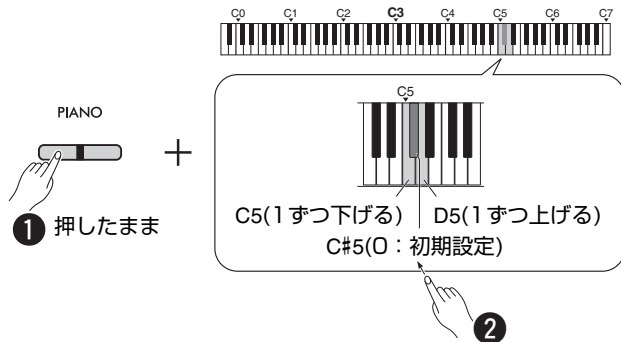


左奏者側	F5	1 ずつ下げる	右奏者側	A5	1 ずつ下げる
	F#5	初期設定 (音色の組み合わせによる)		A#5	初期設定 (音色の組み合わせによる)
	G5	1 ずつ上げる		B5	1 ずつ上げる

左右の鍵域の音量バランスをとる

2つの音色の音量バランスを変更します。^{ピアノ}[PIANO]ボタンを押したまま、C5～D5の鍵盤を押します。

設定範囲：-6 ~ 0 ~ +6 初期設定：0



設定値が+6に近づくほど、右奏者側の音量が大きくなり、-6に近づくほど左奏者側が大きくなります。

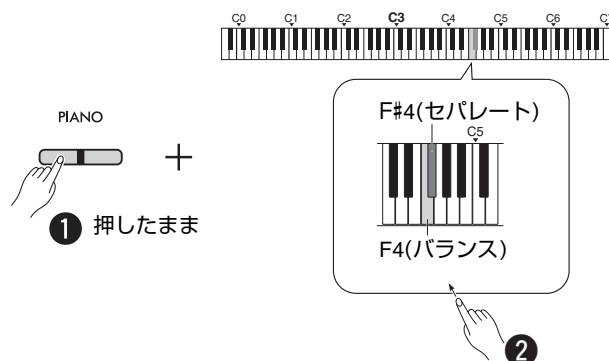
左右のスピーカーからの音の鳴らし方を設定する (デュオタイプ)

初期設定では、左奏者側の演奏音が左側のスピーカーから、右奏者側の演奏音が右側のスピーカーから鳴ります。

このスピーカーからの音の鳴らし方を変更できます。

[PIANO]ボタンを押したまま、F4(バランス)またはF#4(セパレート)の鍵盤を押して設定します。

初期設定：セパレート



デュオタイプリスト

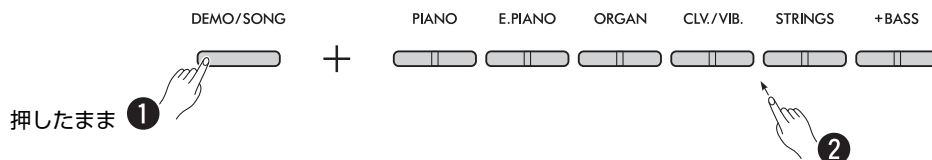
鍵盤	タイプ	内容
F4	バランス	左奏者側と右奏者側の演奏音が左右両方のスピーカーから鳴ります。
F#4	セパレート	左奏者側の演奏音が左側のスピーカーから、右奏者側の演奏音が右側のスピーカーから鳴ります。

音色デモ曲を聞いて音色の特徴を確認する

デモ / ソング
[DEMO/SONG]ボタンを押すと、グランドピアノ(13ページ)音色のデモ曲から順に再生されます。



お好みの音色デモ曲から聞きたい場合は、[DEMO/SONG]ボタンを押したまま、聞きたい音色を選びます(13ページ)。



再生中に曲やテンポを変更する方法は、24ページをご覧ください。

再生を止めるには、[DEMO/SONG]ボタンまたは[▶/■](再生/停止)ボタンを押します。

エレクトリックベース、ベース&シンバル、フレットレスベース以外の音色すべて(13ページ)にデモ曲があります。

下記デモ曲は原曲を編集/抜粋したもので、その他はヤマハのオリジナルです。

(©Yamaha Corporation)

デモ曲リスト

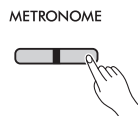
音色名	曲名	作曲者
バラードグランド	6つの小品 第2番 間奏曲 op.118-2	J.ブラームス
オルガン プリンシパル	オルガン小曲集「神のひとり子なる主キリスト」 BWV 601	J.S.バッハ
オルガン トゥッティ	トリオ ソナタ 第6番 BWV 530	J.S.バッハ
ハープシコード 8'	チェンバロ協奏曲 第7番 BWV 1058	J.S.バッハ
ハープシコード 8'+4'	フランス組曲 第5番 ジーグ BWV 816	J.S.バッハ

メトロノームを使う

メトロノームは、正確なテンポで練習するときなどに便利な機能です。

基本操作

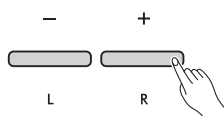
^{メトロノーム}
[METRONOME] ボタンを押して、鳴らしたり止めたりします。



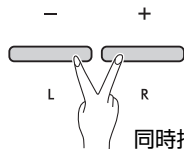
テンポを設定するには

設定範囲：5～280(初期設定120)

メトロノームが鳴っているときに[-]または[+]ボタンを押します。[METRONOME]ボタンを押したまま、一番左端の鍵盤を押すと、現在のテンポが音声(英語)で読み上げられます。



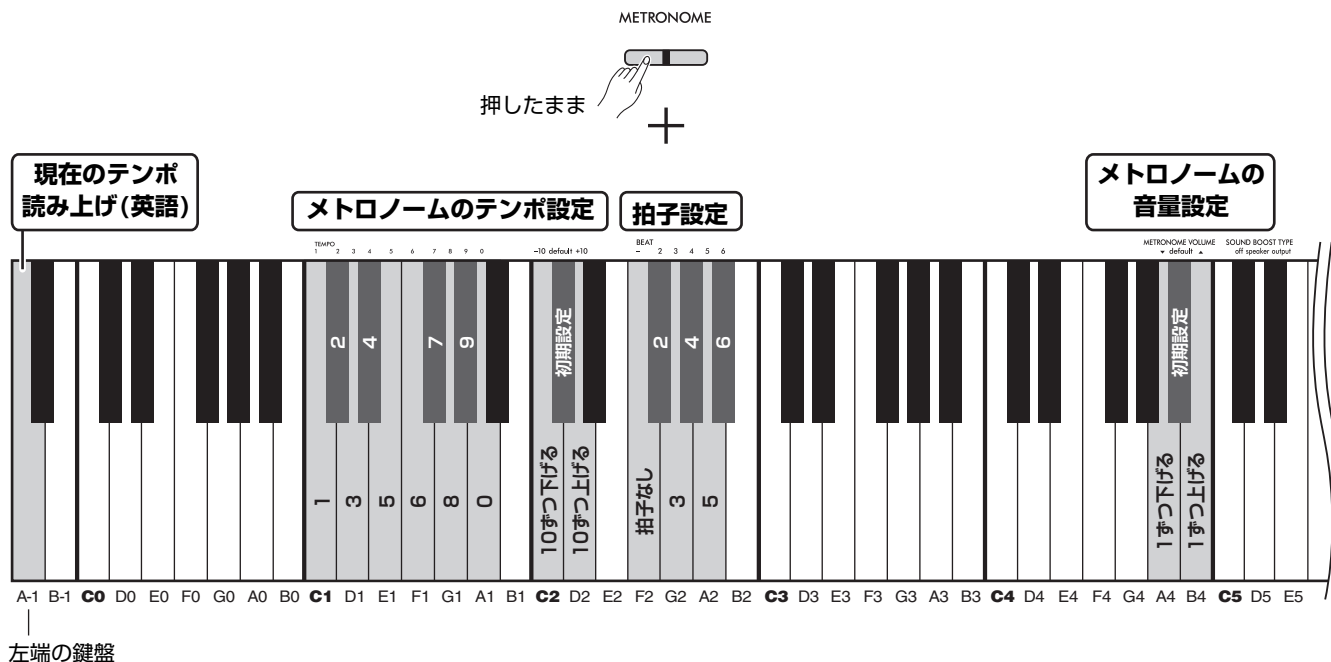
押し続けると値が連続して変わります。



同時押しで初期設定に戻します。

メトロノームを使う

メトロノームに関するさまざまな設定は、^メ^ト^ロ^ノ^ー^ム [METRONOME] ボタンを押したまま、該当の鍵盤を押して行います。



左端の鍵盤

機能	内容	初期設定	設定範囲
現在のテンポ読み上げ(英語)	現在のメトロノームのテンポを音声(英語)で読み上げます。	-	-
テンポ設定	<p>テンポを数値で設定する [METRONOME] ボタンを押したまま、C1～A1の鍵盤を押して設定します。たとえばテンポ80は、G1(8)→A1(0)の順に鍵盤を押します。</p> <p>テンポを10ずつ増減する [METRONOME] ボタンを押したまま、C2(下げる)またはD2(上げる)鍵盤を押します。C#2の鍵盤を押すと、初期設定に戻ります。</p>	120	5～280
拍子設定	メトロノームの拍子を設定します。 [METRONOME] ボタンを押したまま、F2～A#2の鍵盤を押します。	0 (拍子なし)	0(拍子なし)、2、3、4、5、6拍子
音量設定	メトロノームの音量を設定します。 [METRONOME] ボタンを押したまま、A4(1ずつ下げる)またはB4(1ずつ上げる)鍵盤を押して設定します。A#4の鍵盤を押すと、初期設定に戻ります。	7	1～10

曲(ソング)を再生する

この楽器には、付属の楽譜集「クラシック名曲50選」の演奏データが入っています。好きな曲を選んで再生してみましょう。

基本操作

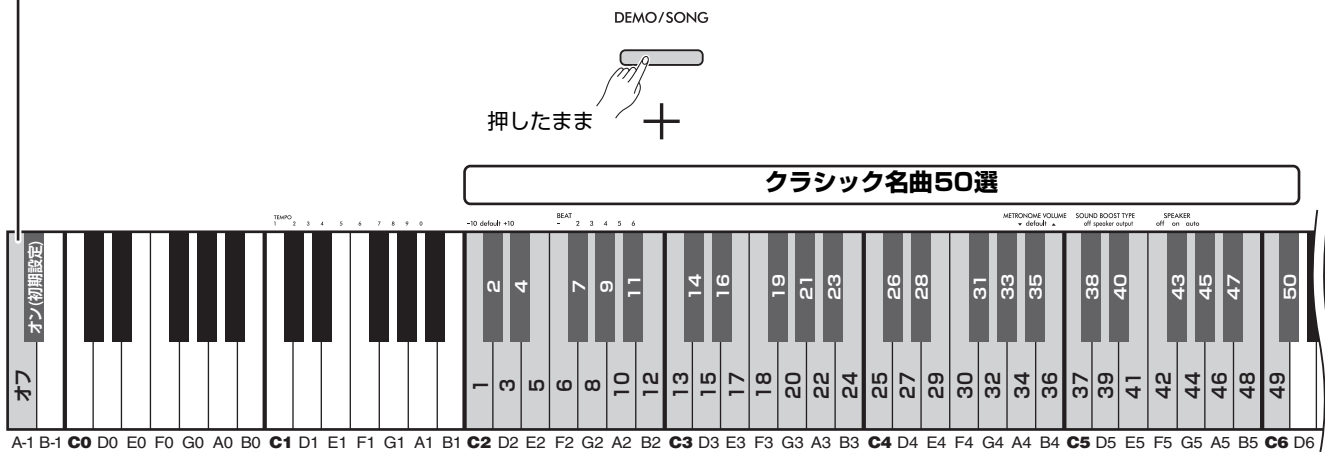
1. [DEMO/SONG] ボタンを押したまま、聞きたい曲のC2～C#6のいずれかの鍵盤(下記参照)を押して、再生をスタートします。
選んだ曲から順番に連続再生します。
2. 再生をストップするには、[DEMO/SONG]または[▶/■](再生/停止)ボタンを押します。

クイックプレイ (曲の最初の無音部分を飛ばして再生する)

最初の音の前に空白がある曲(弱起の曲など)を再生する場合に、実際に音が鳴るところから再生するか(オン)、空白や休符を含めて曲のデータどおりに再生するか(オフ)を選びます。

A#-1(オン、初期設定)：無音部分は飛ばして、音が鳴るところから再生します。

A-1(オフ)：無音部分を飛ばさず、曲の最初から再生します。



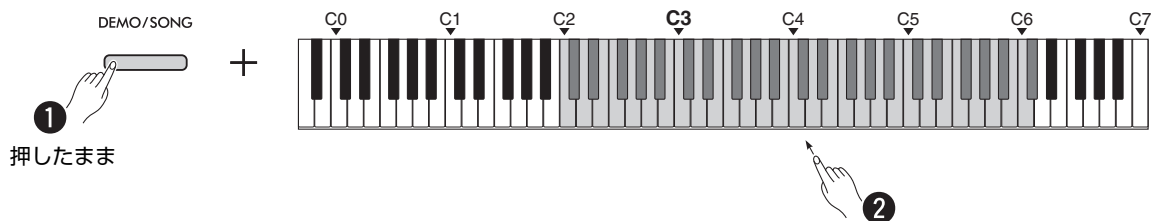
左端の鍵盤

クラシック名曲50選 ソングナンバー / 曲名

1 カノン	14 月の光	27 ピアノソナタ 第14番 「月光」第1楽章	40 花の歌
2 G線上のアリア	15 木星(組曲「惑星」)	28 即興曲 作品90 第2番	41 ユーモレスク
3 主よ、人の望みの喜びよ	16 メヌエット(アイネ・ クライネ・ナハトムジーク)	29 春の歌	42 アリエッタ
4 きらきら星	17 メヌエット 長調 (L. v. ベートーヴェン)	30 幻想即興曲	43 タンゴ(スペインより)
5 ピアノソナタ 第17番 「テンペスト」第3楽章	18 トルコ行進曲 (L. v. ベートーヴェン)	31 別れの曲	44 エンターテイナー
6 歓喜の歌	19 ピアノ協奏曲 第1番 第2楽章	32 革命のエチュード	45 メイプル・リーフ・ ラグ
7 子守唄	20 くるみ割り人形メドレー	33 小犬のワルツ	46 亜麻色の髪の乙女
8 華麗なる大円舞曲	21 前奏曲(平均律第1巻第1番)	34 ノクターン 第2番 変ホ長調	47 アラバスク 第1番
9 英雄ポロネーズ	22 メヌエット 長調(J. S. バッハ)	35 ノクターン 第20番 嬰ハ短調 [遺作]	48 ケークウォーク
10 ラ・カンパネラ	23 ピアノソナタ 第15番第1楽章	36 トロイメライ	49 ジュトゥヴ
11 愛のあいさつ	24 トルコ行進曲 (W. A. モーツァルト)	37 舟歌	50 ジムノペディ 第1番
12 家路	25 ピアノソナタ 第8番 「悲愴」第2楽章	38 乙女の祈り	
13 シシリエンヌ	26 エリーゼのために	39 愛の夢 第3番	

1曲をくり返し再生する

デモ / ソング
[DEMO/SONG] ボタンを押したまま、くり返し再生したい曲の鍵盤を1秒以上押します。音色デモ曲(20ページ)やユーザーソング(36ページ)はくり返し再生できません。



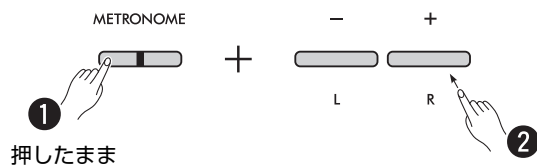
再生中に曲を変更する

曲の再生中に[-]または[+]ボタンを押します。



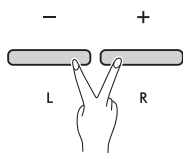
再生中にテンポを変更する

曲の再生中にメトロノーム [METRONOME] ボタンを押したまま、[-]または[+]ボタンを押します。



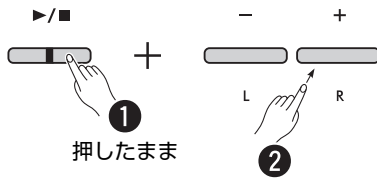
再生中に曲の先頭に戻る

曲の再生中に[-]と[+]ボタンを同時に押すと、曲の先頭から再生されます。



右手または左手部分を消音して再生する

ソングの右手パート(R)、左手パート(L)のどちらか一方を消音(ミュート)して再生すると、鳴っているパートを聞きながらミュートしたパートを練習できます。ミュートするには、ソング再生中に[▶/■](再生/停止)ボタンを押したまま、ミュートしたいパート[R]または[L]ボタンを押します。



NOTE

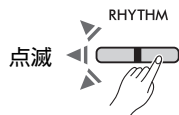
- ・ユーザーソングに録音されたリズムはミュートできません。

演奏に伴奏を付ける(リズム)

この楽器には、打楽器音とベース音で構成された「リズム」が内蔵されています(27ページ)。お好みの音楽ジャンルに合ったリズムを鳴らして、一緒に演奏してみましょう。

基本操作

1. [RHYTHM] ボタンを押して、リズムをスタートします。
打楽器音がイントロからスタートします。



NOTE

- ・ソング再生中にリズムをスタートした場合、イントロは再生されません。

リズムを変更するには

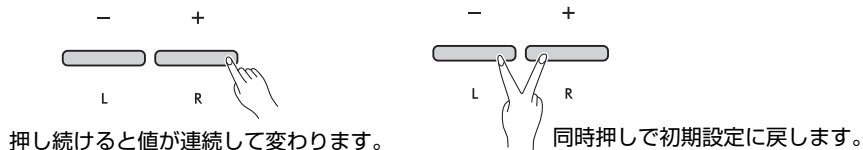
[RHYTHM] ボタンを押したまま F2～C4 のいずれかの鍵盤を押します(28ページ)。

テンポを変更するには

設定範囲：5～280(初期設定 120)

リズムが鳴っているときに[-]または[+]ボタンを押します。

[RHYTHM] ボタンを押したまま、一番左端の鍵盤を押すと、現在のテンポが音声(英語)で読み上げられます。



NOTE

- ・リズムで設定したテンポは、メトロノームのテンポにも反映されます。

2. リズムに合わせて演奏しましょう。

演奏に合わせてベース音が鳴ります。

1つか2つの鍵盤を押すだけで楽器がコードを認識して、そのコードに合ったベース音が鳴ります。

NOTE

- ・9th、11th、13thのコードは認識されません。
- ・コードの押さえ方は、市販のコード表などをご参照ください。

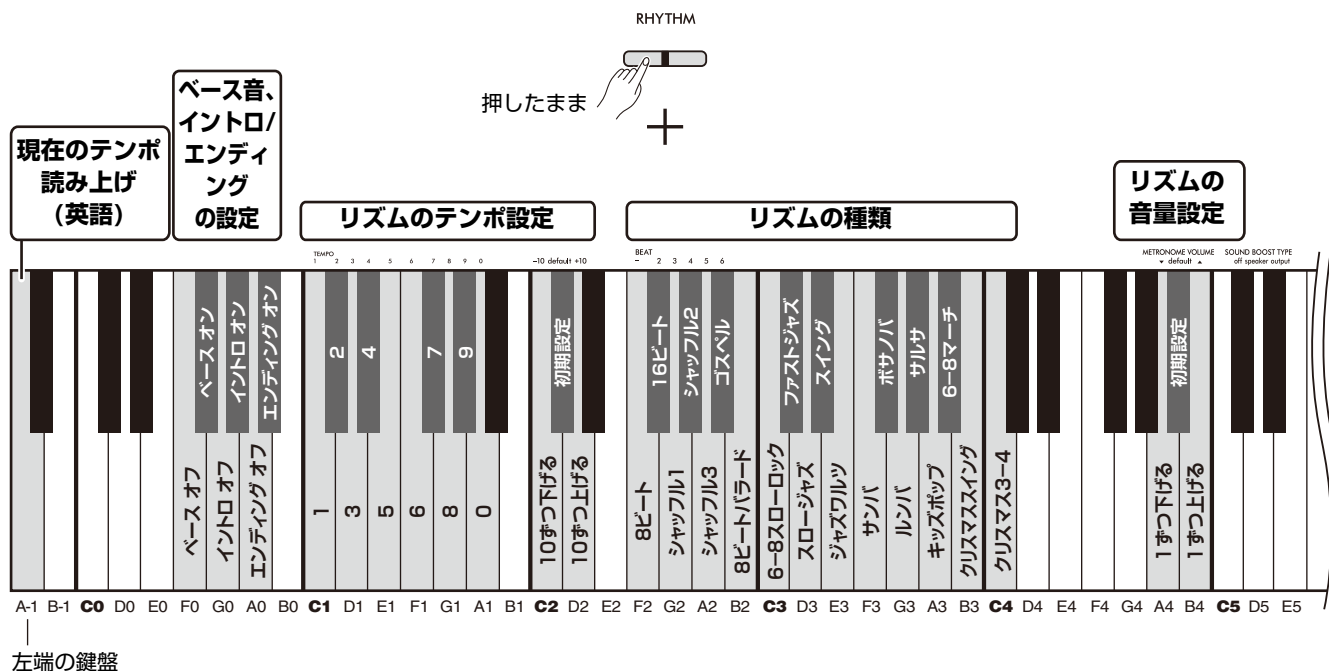
3. [RHYTHM] ボタンを押してリズムをストップします。

リズム一覧

カテゴリ名	鍵盤	リズム名
ポップ&ロック	F2	8ビート
	F#2	16ビート
	G2	シャッフル1
	G#2	シャッフル2
	A2	シャッフル3
	A#2	ゴスペル
	B2	8ビートバラード
	C3	6-8スローロック
ジャズ	C#3	ファストジャズ
	D3	スロージャズ
	D#3	スイング
	E3	ジャズワルツ
ラテン	F3	サンバ
	F#3	ボサノバ
	G3	ルンバ
	G#3	サルサ
キッズ&ホリデイ	A3	キッズポップ
	A#3	6-8マーチ
	B3	クリスマススイング
	C4	クリスマス3-4

演奏に伴奏を付ける(リズム)

リズムに関するさまざまな設定は、[RHYTHM] ボタンを押したまま、該当の鍵盤を押します。



機能	内容	初期設定	設定範囲
現在のテンポ読み上げ(英語)	現在のリズムのテンポを音声(英語)で読み上げます。	-	-
ベース音、イントロ/エンディングの設定	選んだリズムのベース音をオン/オフする [RHYTHM] ボタンを押したまま、F0(オフ)またはF#0(オン)の鍵盤を押します。 リズムの始まりと終わりにイントロ/エンディングを鳴らす/鳴らさないを選ぶ [RHYTHM] ボタンを押したまま、G0/A0(オフ)またはG#0/A#0(オン)の鍵盤を押します。	オン	オン/オフ
テンポ設定	テンポを数値で設定する [RHYTHM] ボタンを押したまま、C1~A1の鍵盤を押して設定します。たとえばテンポ80は、G1(8)→A1(0)の順に鍵盤を押します。 テンポを10ずつ増減する [RHYTHM] ボタンを押したまま、C2(下げる)またはD2(上げる)鍵盤を押します。C#2の鍵盤を押すと、初期設定に戻ります。	120	5~280
リズムの種類	演奏したいリズムを選びます。 [RHYTHM] ボタンを押したまま、F2~C4鍵盤から該当の鍵盤を押します。 各リズムのジャンルについては、27ページの「リズム一覧」をご覧ください。	-	-
音量設定	リズムの音量を設定します。 [RHYTHM] ボタンを押したまま、A4(1ずつ下げる)またはB4(1ずつ上げる)鍵盤を押して設定します。A#4の鍵盤を押すと、初期設定に戻ります。	7	1~10

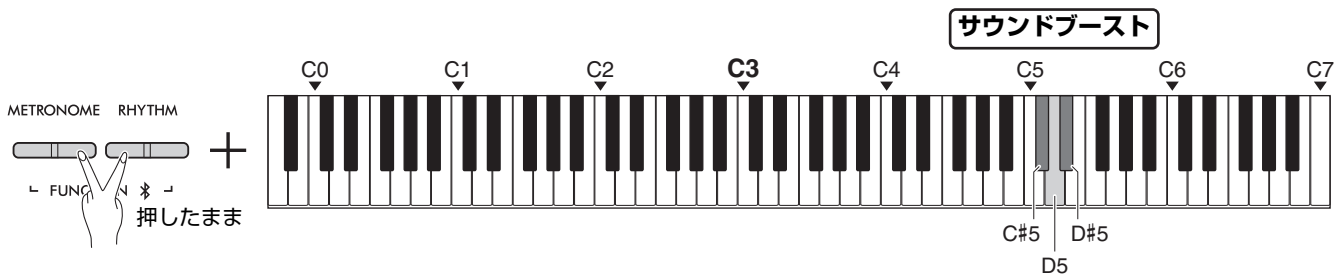
演奏に便利な設定をする

この楽器は、演奏に便利な以下のような機能も搭載しています。

サウンドブースト

楽器の音量感をアップさせる機能です。強い音だけでなく、弱い音もしっかり、クリアに聞かせたいときに使います。演奏する状況に合わせて、スピーカー、アウトプット、オフから好みのタイプを設定することができます。[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したまま、C#5、D5、D#5のいずれかの鍵盤を押して設定します。

初期設定：オフ



サウンドブーストタイプリスト

鍵盤	タイプ	内容
C#5	オフ	サウンドブーストの効果はありません。
D5	スピーカー	楽器本体のスピーカー (45ページ)から音を出し、ほかの楽器と演奏したり、にぎやかな環境で演奏したりするときに自分の音を力強く引き立たせることができる設定です。
D#5	アウトプット	USBオーディオインターフェース機能(46ページ)を使って録音する場合にこの設定を選ぶと、スマートデバイスなど外部機器で再生するときに、1つ1つの音がクリアに聞こえるようになります。Rec 'n' ShareやSmartPianist (48ページ)で録音したデータを再生したり共有したりするときにおすすめです。

トランスポーズ (移調)

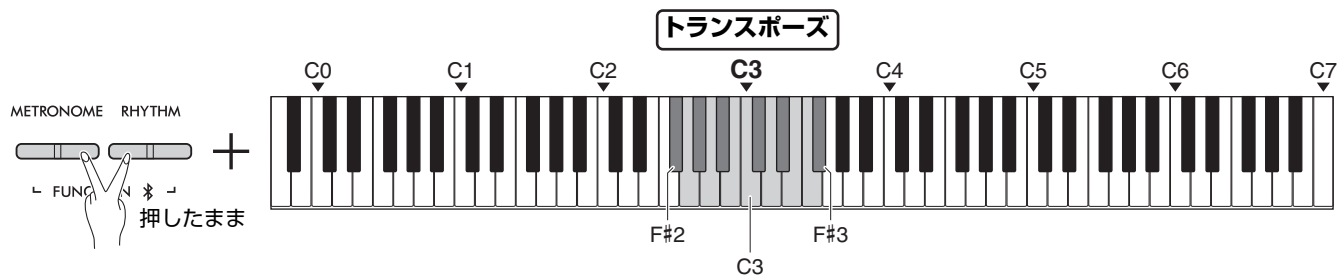
弾く鍵盤を変えずに、半音単位でキー (調) を変更する機能です。

ほかの楽器と演奏するとき、ほかの楽器に合わせてキー (調) を変えられます。

たとえば、トランスポーズを「+5」に設定すると、「ド(C)」の鍵盤を弾いたときに、「ファ (F)」の音が出ます (ハ長調→ヘ長調)。

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したまま、F#2～F#3のいずれかの鍵盤を押して変更します。

設定範囲：-6 (F#2) ～ 0 (C3) ～ +6(F#3)



鍵盤	内容
F#2～B2	キーが下がり、実際の鍵盤よりも低い音が出ます。
C3	元のキー (0) に戻します。
C#3～F#3	キーが上がります、実際の鍵盤よりも高い音が出ます。

チューニング

楽器全体の音の高さを微調整する機能です。

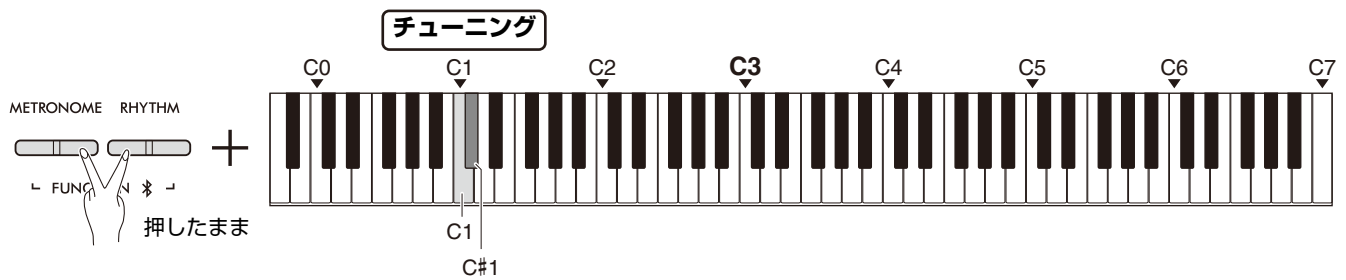
ほかの楽器や音源などと合わせて演奏するとき、音の高さを正確に合わせられます。

初期設定：440.0 Hz

設定範囲：414.8 Hz～440.0 Hz～466.8 Hz

440.0 Hz、442.0 Hzの高さに設定する

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したまま、C1、C#1のいずれかの鍵盤を押して設定します。

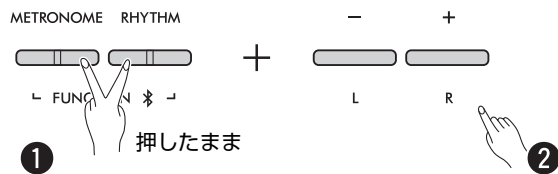


鍵盤	内容
C1	音の高さをA3 = 440.0 Hzに設定します。
C#1	音の高さをA3 = 442.0 Hzに設定します。

440.0 Hz、442.0 Hz以外の高さに設定する

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを同時に押したまま、[-]または[+]ボタンを押します。

0.2 Hzずつ上げ下げできます。[-]と[+]ボタンを同時に押すと初期設定(440.0 Hz)に戻ります。

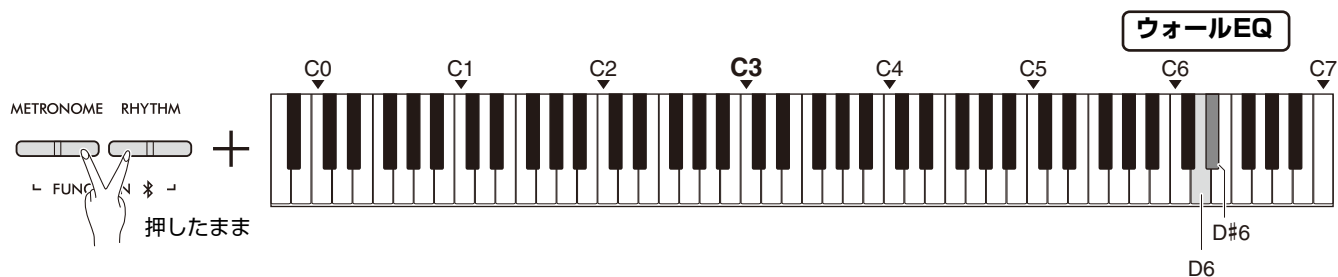


ウォールEQ

この機能をオンにすると、楽器を壁のそばに置いて弾いても、音がこもりにくくなります。

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したまま、D6、D#6鍵盤を押してオン、オフを切り替えます。

初期設定：オフ



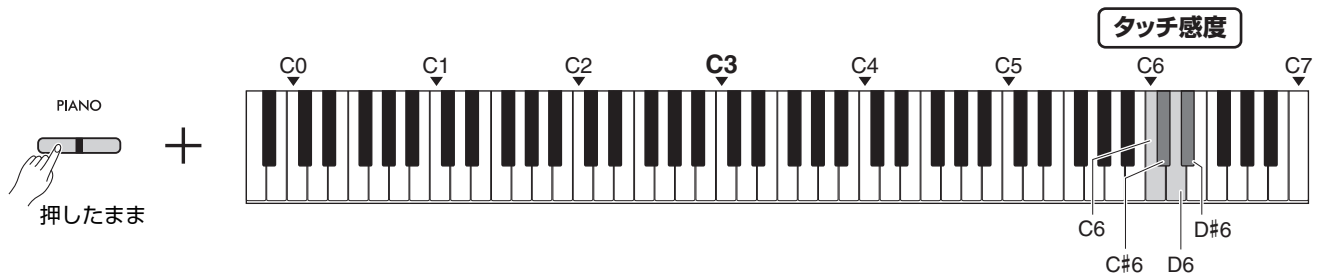
鍵盤	内容
D6	ウォールEQをオフにします。
D#6	ウォールEQをオンにします。

タッチ感度

オルガン、ハーブシコード以外の音色を選び、弾く強さを変えた時の音の強弱の付き方(タッチ感度)を変えられます。鍵盤の重さ自体は変わりません。ソフト、ミディアム、ハード、固定の4つからお好みのタッチ感度を選べます。

[PIANO]^{ピアノ}ボタンを押したまま、C6～D#6のいずれかの鍵盤を押して設定します。

初期設定：ミディアム



タッチ感度リスト

鍵盤	タイプ	内容
C6	ソフト	軽いタッチで大きい音を出すことができます。
C#6	ミディアム	標準的なタッチです。
D6	ハード	強いタッチで弾かないと大きな音を出しにくい設定です。
D#6	固定	タッチの強弱にかかわらず、一定の音量が出ます。

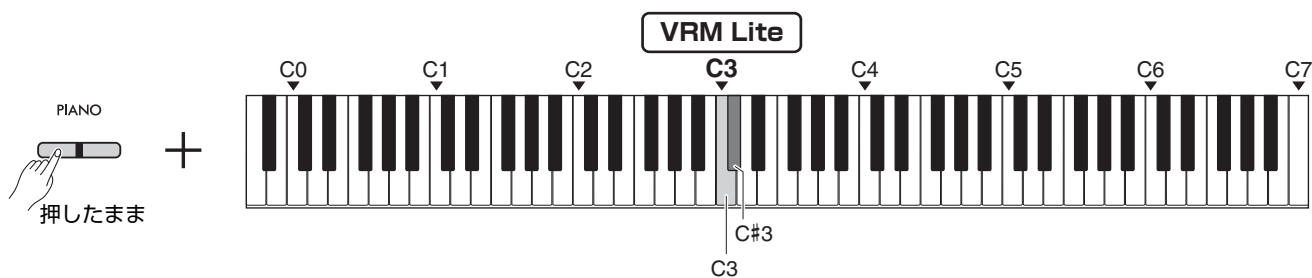
バーチャル・レゾナンス・モデリング ライト (VRM Lite)

バーチャル・レゾナンス・モデリング ライト (VRM Lite) とは、アコースティックピアノ特有の複雑な共鳴音を再現し、より繊細で深みのある響きを実現した技術のことです。和音演奏時やペダルユニット (43 ページ) 使用時に、よりピアノらしい自然な響きを感じられます。

VRM Lite の効果は、ピアノ (PIANO) グループの音色 (13 ページ) のみにかかります。

オン/オフを切り替えるには、^{ピアノ}[PIANO] ボタンを押したまま、C3 (オフ) または C#3 (オン) の鍵盤を押します。

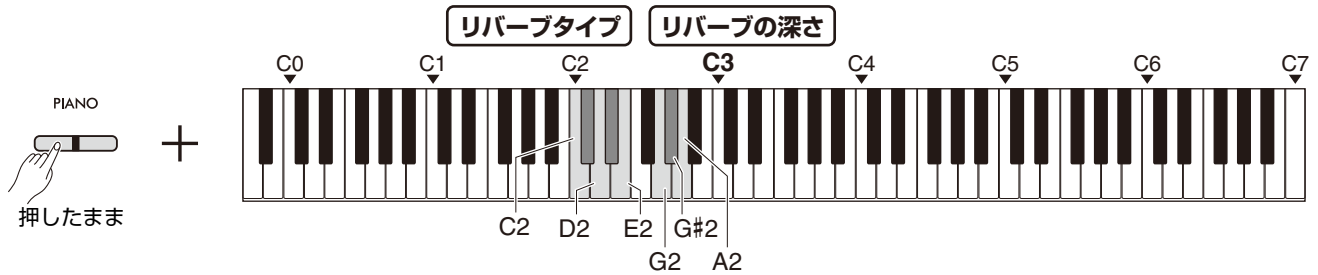
初期設定：オン



鍵盤	内容
C3	VRM Lite をオフにします。
C#3	VRM Lite をオンにします。

リバーブ

演奏音にコンサートホールなどで弾いたような残響音(リバーブ)を加えます。音色を選ぶと、その音色に最適なリバーブ自動的に設定されますが、自分でリバーブの種類を設定することもできます。リバーブの種類(リバーブタイプ)の設定は、[PIANO]ボタンを押したまま、C2～E2のいずれかの鍵盤を押します。



リバーブタイプリスト

鍵盤	タイプ	内容
C2	リサイタルホール	ピアノリサイタル向けの中規模ホールのクリアな響きになります。
C#2	コンサートホール	オーケストラの公演が行われる大きなホールの華やかな響きになります。
D2	サロン	室内楽に適した宮廷内の広間の落ち着いた響きになります。
D#2	クラブ	ライブハウスやジャズクラブのメリハリのある響きになります。
E2	オフ	リバーブはかかりません。

リバーブの深さ(かかり具合)を調節する

[PIANO]ボタンを押したまま、G2、G#2、A2のいずれかの鍵盤を押して調節します。

設定範囲：0～20

鍵盤	内容
G2	1 ずつ減ります。
G#2	初期設定(現在の音色に最適な深さ)に戻ります。
A2	1 ずつ増えます。

演奏を録音する

演奏を1曲録音し、ユーザーソングとしてこの楽器に保存できます。

ご注意

- 録音できるユーザーソングは1曲だけです。録音済みユーザーソングがある状態で録音すると、録音済みソングは上書きされます。録音前に[▶/■](再生/停止)ボタンを押して、録音済みソングの有無を確認しましょう。ある場合は、ソングが再生されます。

録音する

1 録音の前に、音色やメトロノーム、リズムなどを設定します。

2 [●](録音)ボタンを押して録音待機状態にします。

録音を中止するには、もう一度[●]ボタンを押します。

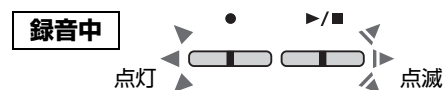


NOTE

- ソング(23ページ)再生中は、[●]ボタンを押しても録音待機状態になりません。
- メトロノームを鳴らしながら録音できますが、メトロノーム音は録音されません。

3 鍵盤を弾くか[▶/■](再生/停止)ボタンを押して録音を開始します。

リズムをスタートさせても録音を開始できます。



4 演奏が終わったら、[●]または[▶/■]ボタンを押して録音を停止します。

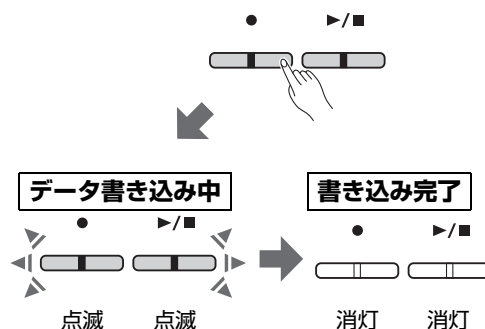
ご注意

- 録音データ書き込み中([●]と[▶/■]ボタンのランプ点滅中)は電源を切らないでください。データが失われます。

スプリット/デュオを使った演奏の録音

スプリット(15ページ)やデュオ(18ページ)を使って演奏したデータを録音すると、下記のようにL、Rパートに分かれて録音されます。

- 左手側、左奏者側の演奏：Lパート
- 右手側、右奏者側の演奏：Rパート



5 [▶/■]ボタンを押して録音したユーザーソングを再生してみましょう。

もう一度[▶/■]ボタンを押すと再生が停止します。



パートごとに録音する

RパートまたはLパートのどちらかを選んで録音できます。

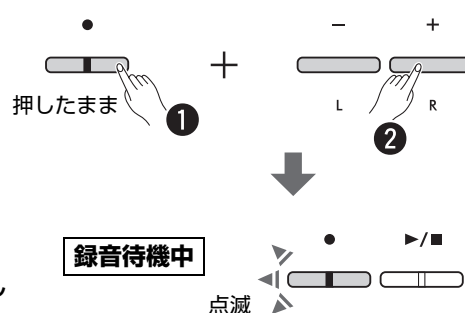
NOTE

- スプリット(15ページ)、デュオ(18ページ)機能を使用している場合は、パートごとの録音ができません。通常の録音方法で録音してください。
- リズム(26ページ)は、RとL両方のパートが録音されていない状態でないと録音できません。リズムを録音したい場合は、最初に録音してください。

1 録音の前に、音色やメトロノーム、リズムなどを設定します。

2 [●]ボタンを押したまま[R]または[L]ボタンを押して、録音待機状態にします。

録音を中止するには、もう一度[●]ボタンを押します。



ご注意

- [▶/■]ボタンも点滅した場合は、どちらかのパートにすでに録音データがあります。誤って上書きしないため、パートごとに再生して(25ページ)、RまたはLパートに録音されていないか確認してください。

録音パートではないパートに録音済みデータがある場合

録音を開始すると録音済みデータのあるパートが再生されるので、再生音に合わせて演奏、録音できます。また、[▶/■]ボタンを押したまま、録音済みの[R]または[L]ボタンを押すと、再生音のオン/オフを切り替えられます。

3 鍵盤を弾くか[▶/■]ボタンを押して録音を開始します。

NOTE

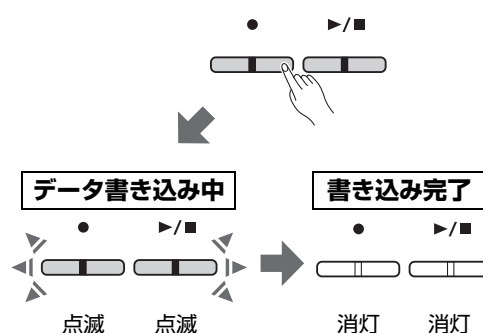
- メトロノームを鳴らしながら録音できますが、メトロノームは録音されません。



4 演奏が終わったら、[●]または[▶/■]ボタンを押して録音を停止します。

ご注意

- 録音データ書き込み中([●]と[▶/■]ボタンのランプ点滅中)は電源を切らないでください。データが失われます。



5 もう片方のパートに録音する場合は、上記手順1~4をくり返します。

6 [▶/■]ボタンを押して再生してみましょう。

もう一度[▶/■]ボタンを押すと再生が停止します。

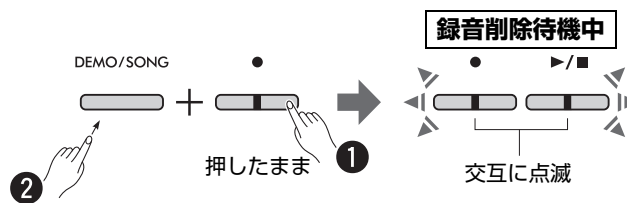


どちらかのパートを録音し直したい場合は、手順1からやり直します。

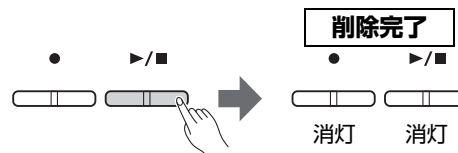
ユーザーソングを削除する

- 1 [●]ボタンを押したまま[DEMO/SONG]ボタンを押して削除待機状態にします。

削除を中止するには、[●]ボタンを押します。



- 2 [▶/■]ボタンを押して削除します。



パートを選んで削除する

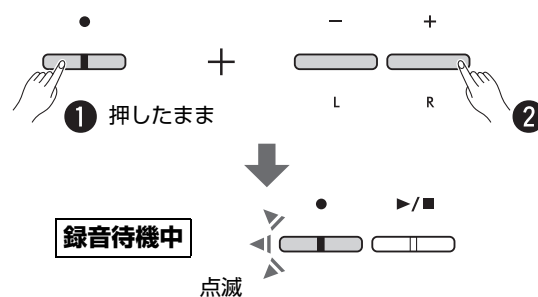
録音したユーザーソングの指定したパートだけを削除します。
削除したいパートに無音で上書き録音して削除します。

NOTE

・リズムは削除できません。

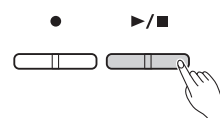
1 [●]を押したまま、削除したいパートの[R]または[L]ボタンを押して録音待機状態にします。

[●]ボタンが点滅します。



2 [▶/■]ボタンを押して、上書き録音を開始します。

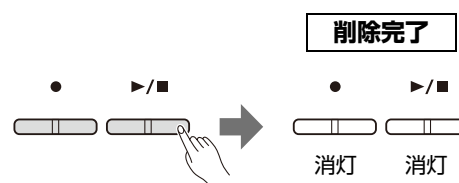
鍵盤は弾かないでください。



3 [●]または[▶/■]ボタンを押して、上書き録音を停止します。

どのタイミングでボタンを押しても、選択したパートの全データが削除されます。

削除が完了すると、ボタンのランプが消灯します。



ユーザーソングの設定を書き換える

以下の設定情報は、録音後でも変更できます。

パートごとに設定できる情報：音色(13)、音量バランス(16～19ページ)、リバーブの深さ(35ページ)
 ユーザーソング(L、Rパート共通)全体に設定する情報：テンポ(21ページ)、リバーブタイプ(35ページ)

1 上記項目の設定をそれぞれ書き換えたい内容に変更します。

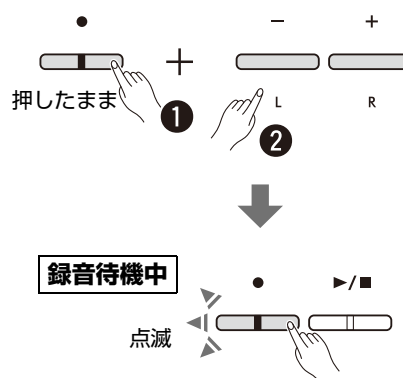
2 [●]ボタンを押したまま、[R]または[L]ボタンを押して、設定を書き換えるパートを選びます。

L、R両方のパートに共通して録音される情報は、どちらのパートを選んでも書き換えられます。

[●]ボタンが点滅して、録音待機状態になります。

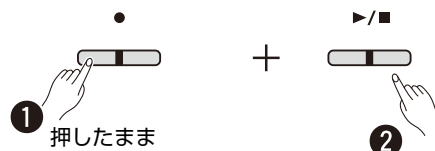
ご注意

- 録音待機状態で[▶/■]ボタンまたは鍵盤を押さないでください。録音が始まれ、録音済みのユーザーソングが消えます。



3 [●]ボタンを押したまま、[▶/■]ボタンを押します。

新しい設定情報が書き込まれ、録音待機状態が解除されます。



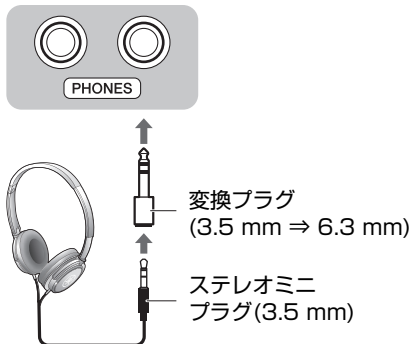
他の機器と接続する

⚠ 注意

- 他の機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入/切する前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷のおそれがあります。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンは、^{フォーンズ}[PHONES]端子に接続して使います。端子は2つあるので、2本同時に使えます。1本だけ使う場合は、どちらの端子に接続しても構いません。



⚠ 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

NOTE

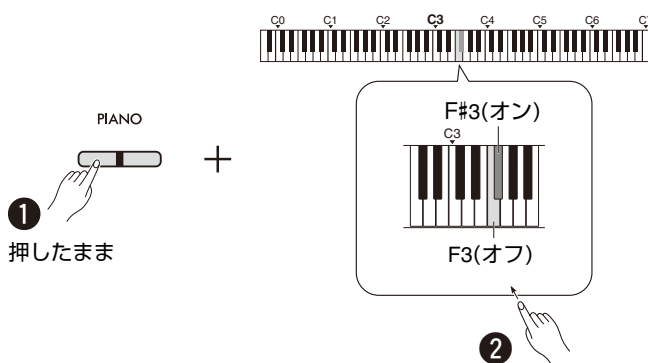
- この楽器のヘッドホン端子は、標準フォーン端子です。ステレオミニプラグのヘッドホンの場合は、標準フォーンへの変換プラグが必要です。

音の距離感を再現する (ステレオフォニックオプティマイザー)

ヘッドホン使用時、ピアノ本体から音が鳴っているような自然な距離感を感じることができる機能です。ピアノ (PIANO) グループの音色(13ページ)を選んでいるときにヘッドホンを接続すると効果がかかります。

オン/オフを切り替えるには、^{ピアノ}[PIANO]ボタンを押したままF3(オフ)またはF#3(オン)の鍵盤を押します。

初期設定：オン



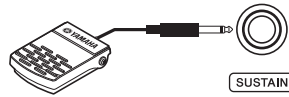
NOTE

- 本体スピーカーの設定(45ページ)がオンの場合、この機能は常に無効です。また、AUX OUT端子で接続した外部スピーカー (44ページ)から楽器の音を出しながら、楽器本体に接続したヘッドホンで楽器の音をモニターする場合は、この機能をオフにすることをおすすめします。

フットスイッチや別売のペダルユニットを使う

フットスイッチを使う (サステイン)

付属のフットスイッチを[SUSTAIN]端子(6ページ)に接続すると、フットスイッチを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。別売のフットペダルFC3A(ハーフペダル*対応)やフットスイッチFC4A/FC5も接続できます。



NOTE

- フットスイッチ/フットペダルのケーブルの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- フットスイッチ/フットペダルを踏んだまま電源を入れしないでください。フットスイッチ/フットペダルのオン/オフが逆になります。

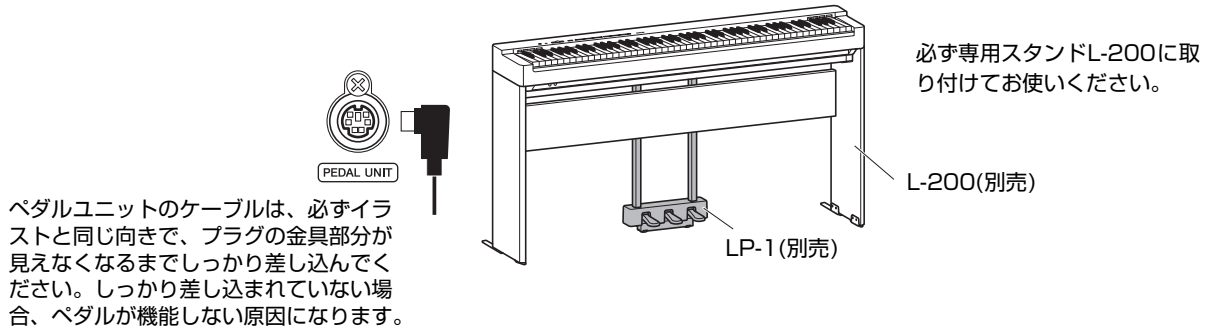
*ハーフペダル機能

ダンパーペダル(フットペダル)の踏み加減で音の伸び具合を調節できる機能です。ダンパーペダルを踏んで音が響きすぎたとき、踏み込んだ状態からペダルを少し戻して音の響きを抑える(音の濁りを減らす)ことができます。

別売のペダルユニットを使う

別売のペダルユニットLP-1を[PEDAL UNIT]端子(6ページ)に接続できます。

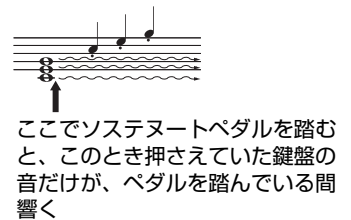
LP-1はハーフペダル機能(42ページ)に対応しています。



ペダルユニットのケーブルは、必ずイラストと同じ向きで、プラグの金具部分が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。しっかり差し込まれていない場合、ペダルが機能しない原因になります。

ペダルの機能

ダンパーペダル (右のペダル)	ペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。ペダルを踏み込むほど音が長く伸びます。このペダルはハーフペダル機能(42ページ)に対応しています。
ソステヌートペダル (まん中のペダル)	このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけが、鍵盤から指を離しても長く響きます。 ペダルを踏んだ状態で弾いた音に対しては機能しないので、「和音を長く鳴らしながらメロディーをスタッカートで弾く」ということができます。
ソフトペダル (左のペダル)	このペダルを踏んだあとに弾いた鍵盤の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくします。ペダルを踏んでいる間は効果が持続します。ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけた音を弾く直前にペダルを踏みます。



NOTE

- ペダルユニットのケーブルの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。

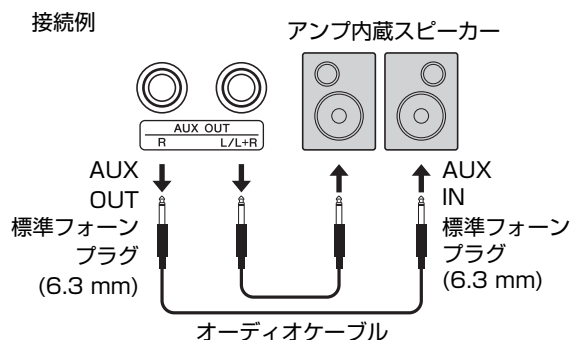
デュオ(18ページ)のときのペダル効果

デュオ機能をオンにすると、ペダル機能は次のように変わります。

- ダンパーペダル(右のペダル) : 右奏者側鍵域のダンパー効果
- ソステヌートペダル(まん中のペダル) : 左右奏者両鍵域のダンパー効果
- ソフトペダル(左のペダル) : 左奏者側鍵域のダンパー効果

外部スピーカーを使う

この楽器にアンプ内蔵スピーカーなどを接続すると、より大きな音を出すことができます。オーディオ接続ケーブルを使って、図のように接続します。



ご注意

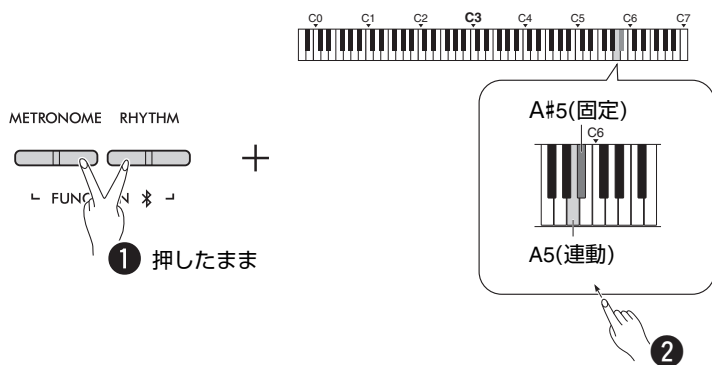
- スピーカー接続時は、楽器の電源を入れてから、外部機器の電源を入れてください。電源を切るときは、外部機器を切ってから、楽器の電源を切ってください。

NOTE

- オーディオ接続ケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。
- モノラル出力の場合（スピーカーを1台だけ使う場合）には、[L/L+R]端子をご使用ください。
- ヘッドホンを接続してAUX OUT端子の出力音をモニターする場合は、ステレオフォニックオプティマイザー（41ページ）をオフにすることをおすすめします。

外部スピーカーの音量を調節する

外部スピーカーから出力する音量を、楽器の全体音量に連動して調節するかどうかを以下の2つから選び、設定できます。[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したまま、A5(連動)またはA#5(固定)の鍵盤を押して設定します。

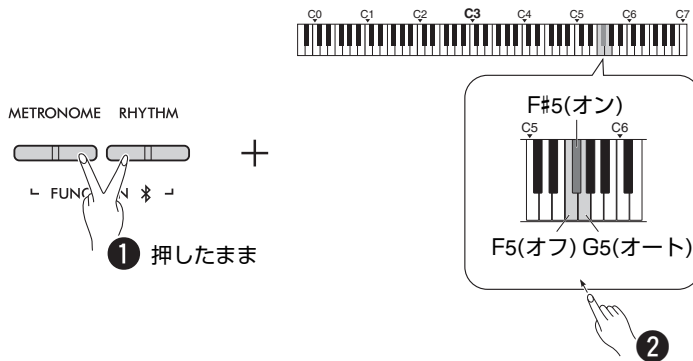


初期設定：連動

鍵盤	設定	内容
A5	連動	楽器の全体音量に連動して変わります。
A#5	固定	楽器の全体音量に関係なく、18dBの音量で鳴ります。

本体スピーカーのオン/オフを設定する

外部スピーカー使用時に本体スピーカー（5ページ）からの音を消したい場合など、本体スピーカーからの音の出し方を以下の3つから選び、設定できます。[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したまま、F5(オフ)、F#5(オン)、またはG5(オート)の鍵盤を押して設定します。

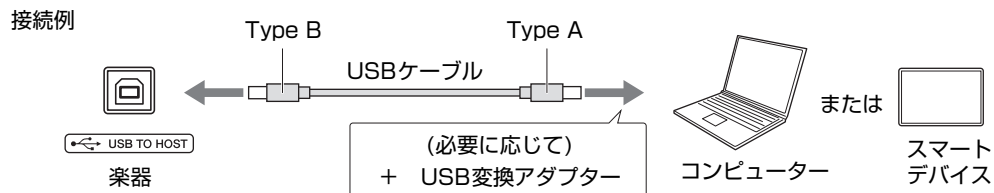


初期設定：オート(auto)

鍵盤	設定	内容
F5	オフ(off)	本体スピーカーから常に音が出ない設定です。 外部スピーカーから音を出すときなど、この設定にします。
F#5	オン(on)	本体スピーカーから常に音が出る設定です。 この設定にすると、音楽教室などでも、ヘッドホンを接続したり外したりする必要がなくなるので、[PHONES]端子(4ページ)が傷むのを防げます。
G5	オート(auto)	ヘッドホンを接続したときだけ本体スピーカーから音が出ない設定です。

コンピューターやスマートデバイスと接続する

この楽器の[USB TO HOST]端子ユーエスピー トゥ ホストにコンピューターやスマートデバイス(スマートフォン、タブレットなど)を接続すると、コンピューターやスマートデバイスとの間でMIDIデータやオーディオデータを送受信できます。コンピューターとの接続方法は、ヤマハウェブサイト(本書2ページ記載)の「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。スマートデバイスと接続してアプリ「スマートピアニスト」を使う場合は、48ページをご覧ください。



⚠ 注意

- DAW (Digital Audio Workstation) などの音楽制作アプリケーションと一緒に使用する場合、設定によっては大きな音が発生することがあるため、オーディオループバック(47ページ)をオフにしてご使用ください。

ご注意

- USBケーブルは、ABタイプのものご使用ください。また、3メートル未満のものをご使用ください。USB3.0は使用できません。

NOTE

- タイプC端子搭載のコンピューターと接続する場合は、コンピューターに対応したUSB変換アダプターをご用意ください。
- 楽器をコンピューターとUSBケーブルで接続する場合は、ハブを経由せず直接接続してください。
- 使用するコンピューターやシーケンスソフトウェアでの必要なMIDI設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

オーディオデータを再生/録音する(USBオーディオインターフェース機能)

スマートデバイスやコンピューターにあるオーディオデータを楽器で再生できます。また、音楽制作用のソフトを使用すれば、楽器の演奏をオーディオデータとして録音できます。

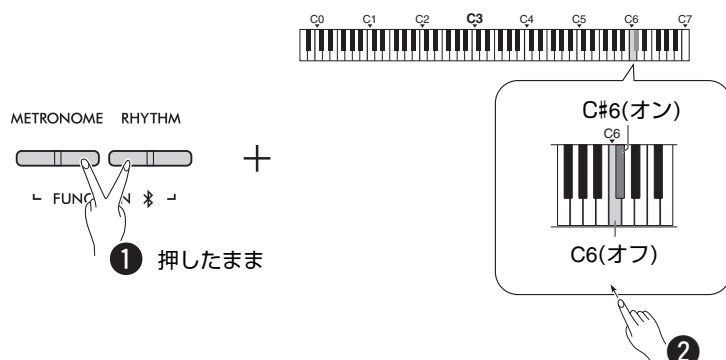
NOTE

- Windows搭載のコンピューターでオーディオデータを送受信する場合は、Yamaha Steinberg USB Driverをコンピューターにインストールする必要があります。詳しくは、ヤマハウェブサイト(本書2ページ記載)上の「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。

オーディオループバック

USBオーディオインターフェース機能による楽器へのオーディオ入力音を、楽器の演奏音とともにコンピューターやスマートデバイスに出力する(オーディオループバックする)かどうかを設定できます。

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したまま、C6(オフ)またはC#6(オン)の鍵盤を押して設定します。



初期設定：オン

鍵盤	設定	内容
C6	オフ	楽器へのオーディオ入力音を、楽器の演奏音とともにコンピューターやスマートデバイスに出力しない設定です。楽器の演奏音だけ録音したい場合にオフにします。
C#6	オン	楽器へのオーディオ入力音を、楽器の演奏音とともにコンピューターやスマートデバイスに出力する設定です。楽器の演奏音だけでなくオーディオ再生音も録音したい場合にオンにします。

スマートデバイスアプリを使う

この楽器に対応した以下のスマートデバイスアプリを使って、もっと便利に楽器を楽しみましょう。

アプリの詳細や対応するスマートデバイスの詳細は、下記ウェブサイトの各アプリのページでご確認ください。

<https://jp.yamaha.com/kbdapps/>



スマートピアニスト

この楽器に搭載されたさまざまな機能を、スマートデバイスの画面を見ながら簡単に操作できます。

楽器とスマートデバイスの接続方法や、アプリの使い方については、スマートピアニスト ユーザーガイドをご覧ください。

スマートピアニスト ユーザーガイド

<https://manual.yamaha.com/mi/app/smartpianist/>



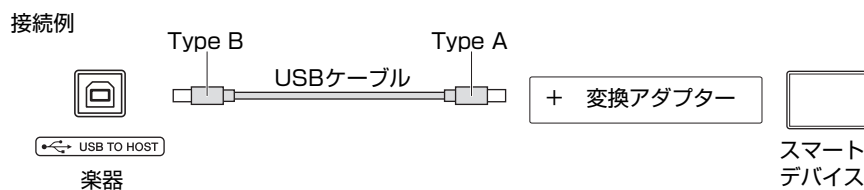
ご注意

- 楽器とスマートデバイスを接続した状態でスマートピアニストを起動すると、楽器の設定がスマートピアニストの内容で上書きされます。

Rec 'n' Share

楽器演奏の撮影、録音、編集から、SNSなどへのアップロードまで、簡単に行うことができます。

楽器とスマートデバイスとの接続には、市販のUSBケーブル(ABタイプ)とスマートデバイスのコネクタ形状に合った変換アダプターが必要です。



Bluetooth

Bluetooth対応機器のオーディオ再生音を楽器のスピーカーで聞く

機能を使う前に、必ず50ページの「Bluetoothに関するお知らせ」をお読みください。

この楽器とスマートフォンや携帯オーディオプレーヤーなどのBluetooth対応機器を接続すると、その機器で再生するオーディオデータをこの楽器のスピーカーで鳴らせます。

NOTE

- この楽器からBluetooth対応機器にオーディオデータを送信することはできません。
- BluetoothヘッドホンやBluetoothスピーカーは接続できないため、使えません。
- 以下の手順で楽器とBluetooth対応機器を接続しても、スマートピアニストなどのアプリは使えません。

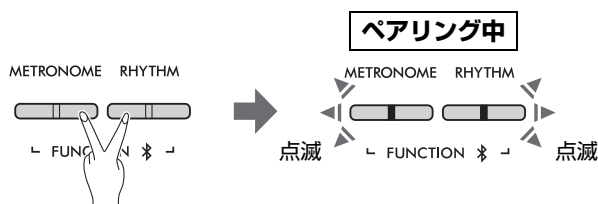
1 [METRONOME] ボタンと [RHYTHM] ボタンを同時に3秒押し、Bluetooth対応機器とのペアリング*を始めます。

*ペアリング：Bluetooth対応機器をこの楽器に登録し、無線通信できるように設定することをいいます。

Bluetoothを使って初めて接続する場合、Bluetooth対応機器とこの楽器をペアリングする必要があります。

一度ペアリングした機器は、再度ペアリングする必要はありません。

ペアリングを中止するには、いずれかのボタンを押します。



NOTE

- この楽器は、最大8台のBluetooth対応機器とペアリングできますが、同時に接続できるのは1台のみです。9台目の機器とのペアリングが成功すると、ペアリングしたのが最も早い機器の情報が削除されます。

2 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにし、接続先リストから「P-225 AUDIO」を選ぶと、接続が完了します。

この操作は、[METRONOME] ボタンと [RHYTHM] ボタンが点滅している間に行ってください。

NOTE

- パスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。

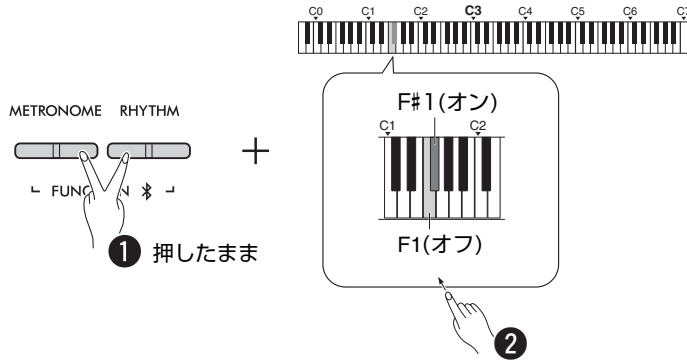
3 Bluetooth対応機器でオーディオデータを再生し、楽器のスピーカーから鳴らしてみましょう。

次に楽器の電源を入れたとき、楽器とBluetooth対応機器のBluetooth機能がオンであれば、前回最後に接続したBluetooth対応機器と自動で接続します。自動で接続できない場合は、Bluetooth対応機器の接続リストから再度この楽器を選んでください。

Bluetooth機能のオン/オフを切り替える

初期設定ではBluetooth機能がオンに設定されていますが、接続を解除したいときや、もう一度接続しなおしたいときなど、楽器のBluetooth機能のオン/オフを設定できます。

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを押したまま、F1(オフ)またはF#1(オン)の鍵盤を押してオン/オフを切り替えます。



Bluetoothに関するお知らせ

Bluetoothとは、2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

製品の取り扱いに関する注意

- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、日本電波法に基づく認証を受けた無線機器を内蔵しております。従って、本製品を使用するとき無線局の免許は不要です。ただし、本製品に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造する
 - 本体底面の銘板をはがしたり、消したりする

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

ミディ MIDIに関する設定

MIDIに関する各種設定や操作について説明します。

NOTE

- 楽器本体とコンピューターとの接続方法については46ページ、またはヤマハウェブサイト(本書2ページ記載)の「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。

MIDI送信/受信チャンネルの設定

この楽器とコンピューターのあいだで演奏情報を送受信するためには、送信側と受信側でMIDIチャンネル(1~16チャンネル)を合わせておく必要があります。ここで楽器本体からMIDIデータを送受信するときのチャンネルを設定します。

MIDI送信チャンネルの設定

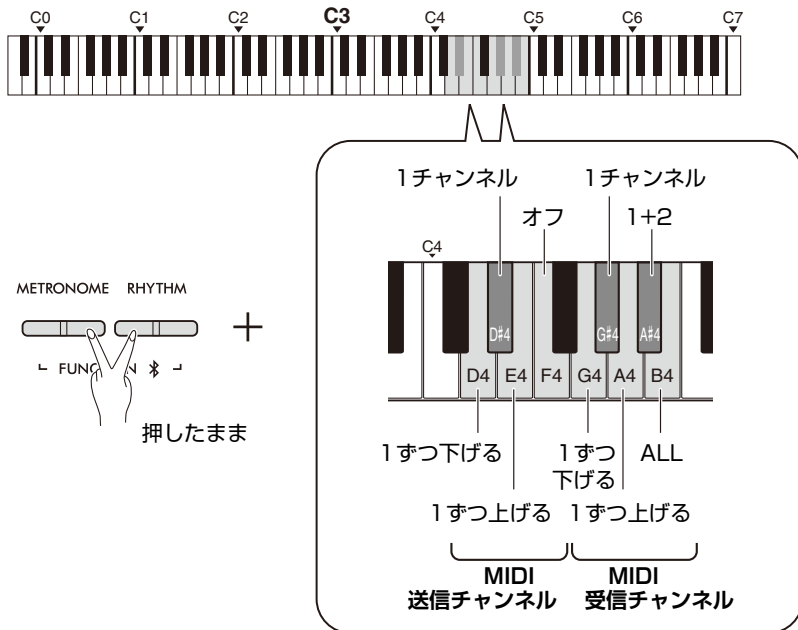
[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを同時に押したまま、D4~F4鍵盤のどれかを押し、値を設定します。

- 初期設定：1

MIDI受信チャンネルの設定

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを同時に押したまま、G4~B4鍵盤のどれかを押し、値を設定します。

- 初期設定：ALL



デュアル、スプリット、デュオのときの第2音色は

ここで設定したチャンネルの次のチャンネルで送信されます。(第1音色は、ここで設定したチャンネルで送信されます。)ただし、上記設定チャンネルをOFFに設定した場合は送信されません。

ALLの場合は

「マルチティンバー」と呼ばれる仕様になっており、コンピューターから送信される複数のチャンネルのデータを、同時に受信します。複数のチャンネルを使って作られた演奏データを、この楽器で受信して再生させることができます。

「1+2」の場合は

コンピューターから受信するデータのうち1、2チャンネルのデータだけを受信し、この楽器本体で再生することができます。

NOTE

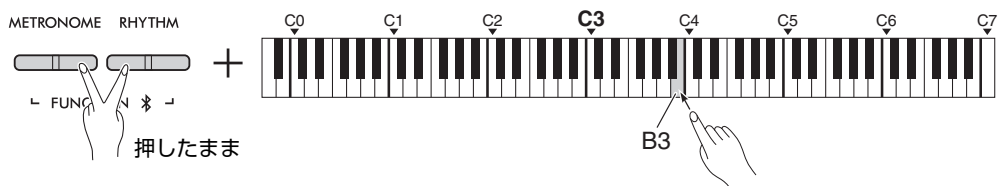
- この楽器では、楽器本体のパネル設定や手弾き音は、送信されてくるプログラムチェンジ(音色切り替え)などのチャンネルメッセージから影響を受けません。
- 音色デモ曲/クラシック名曲50選の再生データはMIDI送信されません。

ローカルコントロールオン/オフの設定

通常、この楽器の鍵盤を弾くと本体内部の「音源」から音が出ます。この状態は「ローカルコントロールオン」と呼ばれます。「ローカルコントロールをオフ」にすると、「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもこの楽器からは音が出なくなります。一方、鍵盤を弾いた演奏データはMIDI送信されますので、この楽器の音を鳴らさず接続したコンピューター側の音源を鳴らしたいときなどに、ローカルコントロールをオフにします。

[METRONOME] ボタンと [RHYTHM] ボタンを同時に押したまま B3 鍵盤を押します。B3 鍵盤を押すたびにローカルコントロールオン/オフが切り替わります。

初期設定：オン

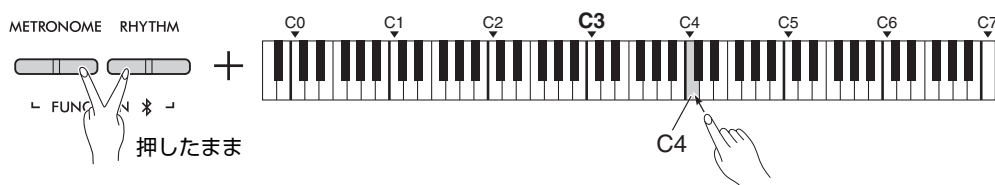


プログラムチェンジ送受信オン/オフの設定

MIDIで送信側の機器から受信側の機器の音色を切り替える情報をプログラムチェンジと言います。たとえばこの楽器からプログラムチェンジを送信すると、接続したコンピューター上のシーケンサーソフトなど、外部音源の音色を切り替えることができます。(この楽器のパネル上で音色を切り替えたときに、切り替えた音色のプログラムチェンジナンバーが送信されます。)逆に、接続したコンピューター側から送信されたプログラムチェンジをこの楽器が受信すると、同時に受信しているMIDIの演奏データの音色が切り替わります。(このとき鍵盤での手弾き音色は切り替わりません。)

このプログラムチェンジの送/受信ができたほうが便利な場合(=接続したコンピューターと音色切り替えを連動させたい場合)と、できないほうが便利な場合(=接続したコンピューターと音色切り替えを連動させたくない場合)があります。音色切り替えを連動させたい場合はオンに、連動させたくない場合は、オフにします。

^メ_ト^ロ_{ノ^ー_ム [METRONOME] ボタンと ^リ_{ズ^ム [RHYTHM] ボタンを同時に押したままC4鍵盤を押します。C4鍵盤を押すたびにプログラムチェンジ送受信オン/オフが切り替わります。}}



各音色のプログラムチェンジナンバーについては「音色一覧」(55ページ)をご覧ください。

初期設定：オン

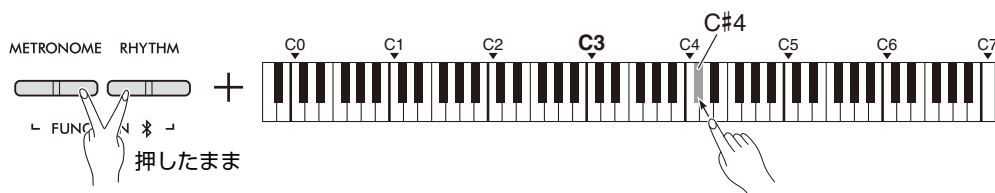
コントロールチェンジ送受信オン/オフの設定

コントロールチェンジデータとは、MIDIデータのうち、演奏表現など(たとえば、ペダルの情報)に関するデータのことです。

この楽器からコントロールチェンジを送信すると接続したコンピューター側の演奏をコントロールすることができます。(この楽器でペダルを操作したときなどにコントロールチェンジが送信されます。)逆に、接続したコンピューター側から送信されたコントロールチェンジをこの楽器が受信すると、同時に受信しているMIDIの演奏データがそれに反応します。(このとき鍵盤での手弾き音は影響を受けません。)

このコントロールチェンジの送/受信ができたほうが便利な場合と、できないほうが便利な場合があります。送/受信ができたほうが便利な場合はオンに、できないほうが便利な場合は、オフにします。

[METRONOME] ボタンと [RHYTHM] ボタンを同時に押したまま C#4 鍵盤を押します。C#4 鍵盤を押すたびにプログラムチェンジ送受信オン/オフが切り替わります。



この楽器がコントロールチェンジとして扱える情報については「MIDIインプリメンテーションチャート」(57ページ)をご覧ください。

初期設定：オン

音色一覧

プログラムチェンジを0～127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた数で指定します。たとえば、ライブ グランドのプログラムチェンジを指定する場合は、1の値になります。

音色ボタン	音色名	MSB(0-127)	LSB(0-127)	Program Change # (1-128)
PIANO (ピアノ)	グランドピアノ	108	0	1
	ライブ グランド	108	2	2
	バラード グランド	108	3	1
	ブライト グランド	108	0	2
E.PIANO (エレクトリックピアノ)	ステージ エレピ	108	0	5
	DX エレピ	108	0	6
	ビンテージ エレピ	108	1	5
	シンセ ピアノ	108	0	89
ORGAN (オルガン)	ジャズ オルガン	108	0	17
	ロック オルガン	108	0	19
	オルガン プリンシパル	108	1	20
	オルガン トゥッティ	108	0	20
CLV./VIB. (クラビ/ビブラフォン)	クラビコード	108	0	8
	ビブラフォン	108	0	12
	ハーブシコード8'	108	0	7
	ハーブシコード8'+4'	108	1	7
STRINGS (ストリングス)	ストリングス	108	0	49
	スロー ストリングス	108	0	50
	クワイア	108	0	53
	シンセ パッド	108	0	90
+BASS (+ベース)	アコースティック ベース	108	0	33
	エレクトリック ベース	108	0	34
	ベース & シンバル	108	1	33
	フレットレス ベース	108	0	36

エフェクトタイプ一覧

リバーブタイプリスト

タイプ	10進		16進	
	MSB	LSB	MSB	LSB
オフ	0	0	0H	0H
リサイタルホール	1	24	1H	18H
コンサートホール	1	4	1H	4H
サロン	2	24	2H	18H
クラブ	3	24	3H	18H

MIDIインプリメンテーションチャート

YAMAHA [Digital Piano]

Model P-225

MIDI Implementation Chart

Version:1.0

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1 o	1 - 16 o	
Mode Default Messages Altered	3 x *****	3 x x	
Note Number : True voice	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity Note ON Note OFF	o 9nH,v=1-127 o 8nH,v=64	o 9nH,v=1-127 o 9nH,v=0 or 8nH	
After Key's Touch Ch's	x x	x o	
Pitch Bend	o	o 0 - 24 semi	*1
Control Change	0,32 o 1,5,11 x *2 7,10 o 19 x *2 6,38 x *2 64,66,67 o 65 x *2 71-74 x *2 84 x *2 88 x *2 91,93 o 96-97 x *2 98-99 x *2 100-101 o	o o o x o o o o x o o o o o o	Bank Select Key Acceleration Data Entry Pedal Portamento Sound Controller High-Res Velocity Prefix Effect Depth RPN Inc,Dec NRPN LSB,MSB RPN LSB,MSB
Prog Change : True #	o 0 - 127 *****	o 0 - 127 0,1,4,5,6,11,16,19,48	
System Exclusive	o	o	
Common : Song Pos. : Song Sel. : Tune	x x x	x x x	
System : Clock Real Time: Commands	o o	x o	
Aux :All Sound OFF :Reset All Cntrls :Local ON/OFF Mes- :All Notes OFF sages:Active Sense :Reset	x x x x o x	o (120,126,127) o (121) o (122) o (123-125) o x	
Notes: *1 ピアノやハーブシコードの一部の音色では、ピッチバンド幅の設定どおりに音の高さが変化しない場合があります。 *2 これらのコントロールチェンジはパネル操作によって送信されませんが、Song演奏中に送信されることがあります。			

Mode 1 : OMNI ON , POLY

Mode 2 : OMNI ON , MONO

o : Yes

Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 4 : OMNI OFF, MONO

x : No

困ったときは

現象	原因と解決方法
[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、ポツンという音が出る。	本体に電流が流れるためです。異常ではありません。
電源が入らない。	電源アダプターは正しく接続されていますか。電源アダプターを本体とコンセントに確実に差し込んでください(7ページ)。
電源が自動的に切れる。	オートパワーオフ機能(8ページ)が働いたためです。オートパワーオフ機能を使いたくない場合は、機能を解除してください。
スピーカー/ヘッドホンから雑音が出る。	楽器の近くで携帯電話を使用していませんか。携帯電話の電源を切るか楽器から離れて使用してください。
	スマートデバイスのアプリと一緒に使用している場合は、スマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	本体スピーカーの設定がオフになっていませんか(45ページ)。
	[PHONES]端子(4ページ)にヘッドホン、または変換アダプターが接続されていませんか。
	ローカルコントロールの設定がオンになっていますか(52ページ)。
[VOLUME]スライダーで音量を変えても、ヘッドホンの音量が変わらない。	外部スピーカーの音量を「固定」に設定していませんか。「連動」に設定してください(44ページ)。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。異常ではありません。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	異常ではありません。ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしています。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。
ペダルが効かない。	ペダルコードのプラグが[SUSTAIN]端子/[PEDAL UNIT]端子(6ページ)に確実に接続されているか確認してください。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。(フットスイッチを踏むと音がカットされ、離すとサステインが効く)	フットスイッチ(42ページ)を踏みながら電源を入れたため、フットスイッチの極性が逆になっています。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
Bluetooth対応機器とペアリングまたは接続ができない。	Bluetooth機能がオフになっていませんか。「オン」に設定してください(50ページ)。
	Bluetooth経由で接続するには、はじめに機器同士をペアリングする必要があります(49ページ)。
	2.4 GHz帯の電磁波を発するもの(電子レンジ、無線LAN機器など)が近くにある場合は、電磁波を発するものからこの楽器を離してください。
DAW(Digital Audio Workstation)などの音楽制作アプリケーションと一緒に使用したとき、ハウリングしたり、大きな音がしたりする。	音がループしています。オーディオループバックをオフにするか、DAWのモニター機能をオフにしてください(47ページ)。

下記ウェブサイトの「よくあるお問い合わせ(Q&A)」もご確認ください。



<https://yamaha.io/faq-jp-piano>

それでも解決しない場合は、「電子ピアノ・キーボードご相談窓口(0570-006-808)」へお問い合わせください。

索引

B		
Bluetooth	49、50	
M		
MIDI	51	
MIDIインプリメンテーションチャート	57	
R		
Rec 'n' Share	48	
U		
USBオーディオインターフェース	46	
V		
VRM Lite	34	
ア		
アプリ	48	
イ		
移調 → トランスポーズ	30	
インテリジェント・アコースティック・ コントロール(IAC)	9	
イントロ	28	
ウ		
ウォールEQ	32	
エ		
エンディング	28	
オ		
オーディオループバック	47	
オートパワーオフ	8	
オクターブ	16、17、18	
音量	7	
音量(メトロノーム)	22	
音量(リズム)	28	
音量バランス	16、17、19	
カ		
外部スピーカー	44	
ク		
クイックオペレーションガイド	2	
クイックプレイ	23	
クラシック名曲50選	23	
くり返し再生	24	
ケ		
鍵盤操作音	10	
コ		
困ったときは	58	
コントロールチェンジ	54	
コンピューター	46	
コンピューターとつなぐ	2	
サ		
再生(オーディオデータ)	46	
再生(クラシック名曲50選)	23	
再生(音色デモ曲)	20	
サウンドブースト	29	
サウンドブーストタイプリスト	29	
サステイン	42	
シ		
受信チャンネル	51	
消音(パート)	25	
初期化	11	
ス		
ステレオフォニックオブティマイザー	41	
スプリット	15	
スプリットポイント	15	
スマートデバイス	46	
スマートデバイス接続マニュアル	2	
スマートピアニスト	48	
スマートピアニスト ユーザーガイド	2	
ソ		
送信チャンネル	51	
ソステヌートペダル	43	
ソフトペダル	43	
ソング	23	
タ		
タッチ感度	33	
タッチ感度リスト	33	
ダンパーペダル	43	
チ		
チューニング	31	
テ		
デモ曲	20	
デモ曲リスト	20	
デュオ	18	
デュオタイプ	19	
デュオタイプリスト	19	

電源	7	リズムテンポ	26、28
テンポ(ソング)	24	リバーブ	35
テンポ(メトロノーム)	21、22	リバーブタイプリスト	35
テンポ(リズム)	26、28	リバーブの深さ(かかり具合)	35
ト		ロ	
トランスポーズ	30	ローカルコントロール	52
ネ		録音	36
音色	13	録音(オーディオデータ)	46
音色デモ曲	20		
音色リスト	13		
ハ			
バージョン	12		
パート(録音)	37、39		
パート(ソング)	25		
ハーフペダル	42		
バックアップ	11		
ヒ			
拍子	22		
フ			
フットスイッチ	42		
プログラムチェンジ	53		
ヘ			
ベース	28		
ペアリング	49		
ペダルユニット	43		
ヘッドホン	41		
ホ			
本体スピーカー	45		
ミ			
ミュート(パート)	25		
メ			
メトロノーム	21		
メトロノーム音量	22		
メトロノームテンポ	21、22		
ユ			
ユーザーソング	36、38		
リ			
リズム	26		
リズム一覧	27		
リズム音量	28		